

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事名称

市営住宅団地建築工事

2. 工事場所

佐賀県神埼市

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備考
団地地 西棟	RC造	4	1361.95	88.53	5項(ロ)	
団地地 東棟	RC造	3	1367.06	112.18	5項(ロ)	
団地地 集食場	木造	1	77.95		1項(ロ)	

4. 工事種目

(○印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	建物別及び屋外					備考
	西棟	東棟	集食場		屋外	
○電灯設備	一式	一式	一式			
○動力設備	一式					
・雷保護設備						
・受変電設備						
・電力貯蔵設備						
○発電設備			一式			
・横内情報通信網設備						
○横内交換設備	一式	一式	一式			
・情報表示設備						
・拡声設備						
・誘導支援設備						
○テレビ共同受信設備	一式	一式	一式			
・監視カメラ設備						
・駐車場管制設備						
・自動火災報知設備						
・中央監視制御設備						
○横内配電線路					一式	外灯設備を含む
○横内通信線路					一式	
・テレビ電波障害防除設備						
・						
・						
・						
・						

5. 指定部分

※無 ・有 (工期:令和 年 月 日) (対象部分)

6. 概成工期

※無 ・有 (工期:令和 年 月 日)

II. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、全て「公共住宅建設工事共通仕様書 電気編(令和元年度版)」(以下、「公仕仕(電気編)」という。)によるほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編 平成31年版)」(以下「標準図」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和元年版)」による。

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は(/)図、建築工事の特記仕様書は(/)図による。

2. 特記仕様

1) 編は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

3) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。ただし、○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と◎印の付いた場合は、ともに適用するものとする。

4) 項目又は特記事項に記載の()内の表示番号は、「公仕仕(電気編)」の該当項目を示す。

5) 特記事項の「機材の品質・性能基準」は、「公共住宅建設工事機材の品質・性能基準(公共住宅事業者等連絡協議会)」を示す。

3. 電気方式

1) 電灯設備

幹線 AC 1Φ3W 200V / 100V 50Hz(60Hz)

分岐 AC 1Φ3W 200V / 100V 50Hz(60Hz)

AC 1Φ2W 200V / 100V 50Hz(60Hz)

2) 動力設備

幹線 AC 3Φ3W 400V 又 200V 50Hz(60Hz)

分岐 AC 3Φ3W 400V 又 200V 50Hz(60Hz)

1

一般共通事項

① 一般事項

○ 工事の施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

○ 工事受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗を図ること。

② 設計図書等の取扱い

(1.1.1)

(1.1.6)

③ 工事実績情報

(CORINS)の登録

(1.1.4)

④ 施工管理体制に関する書類の提出

(1.3.1)

5. 施工条件

(1.3.3)

⑥ 他工事との取合い

⑦ 足場等

⑧ 電源周波数

⑨ 電気保安技術者

(1.3.2)

⑩ 火災保険等

⑪ 住宅瑕疵担保責任

⑫ 災害等発生時の安全確保

(1.3.7)

13. 発生材の処理等

(1.3.9)

⑭ 環境への配慮

(1.4.1)

1

一般共通事項

⑮ 機材の品質等

(1.4.2)

⑯ 施工の検査等

(1.5.3)

⑰ 施工の立会い

(1.5.5)

18. 化学物質の濃度測定

(1.5.7)

⑰ 技術検査

(1.6.2)

⑳ 工事写真

㉑ 完成図等

(1.7.1)

(1.7.2)

㉒ 完成写真

23. 保全に関する資料

(1.7.3)

㉔ 監督職員事務所

(2.1.1)

㉕ 工事用電力、水、その他

㉖ 工事用仮設物

㉗ 建設発生土処理

(2.2.1)

㉘ 塗装工事

(2.7.1)

(現場塗装)

(めっき)

(亜鉛めっき面の塗装工程)

1

一般共通事項

⑰ 機材の品質等

(1.4.2)

⑯ 施工の検査等

(1.5.3)

⑰ 施工の立会い

(1.5.5)

18. 化学物質の濃度測定

(1.5.7)

⑰ 技術検査

(1.6.2)

⑳ 工事写真

㉑ 完成図等

(1.7.1)

(1.7.2)

㉒ 完成写真

23. 保全に関する資料

(1.7.3)

㉔ 監督職員事務所

(2.1.1)

㉕ 工事用電力、水、その他

㉖ 工事用仮設物

㉗ 建設発生土処理

(2.2.1)

㉘ 塗装工事

(2.7.1)

(現場塗装)

(めっき)

(亜鉛めっき面の塗装工程)

1

一般共通事項

㉚ スリーブ工事

(2.9.1)

30. 電気工事士

㉛ 耐震処置

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設		○一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間層	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
地下、1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は、上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間層とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

重要機器は、次のものを示す。
○配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視制御装置

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑳ 電線本数、管路等

㉓ フラッシュプレート

34. はつり

㉕ 製造者、受注者の表示

㉖ 取付け板

㉗ 機器取付け高さ

㉘ 接地極

工事名称

市営住宅団地建築工事

図面名称

電気設備工事 特記仕様書(1)

縮尺

NS

図面 No

E-01

項目	特記事項	編	項目	特記事項	編	項目	特記事項	編	項目	特記事項	
2	① 電線保護物類 (1.2.6)～(1.2.9)	○ 形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ○ 接地端子座の形状等は、標準図第2編「電力設備工事」による。	2	⑭ 共通事項 (2.1.1)(2.1.10) (2.1.11)	・ 屋外でケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。 ・ 金属ダクトが防火区画等を貫通する場合は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 金属ダクト、バスダクト又はケーブルラックが防火区画された配線室等の内部の床を貫通する部分で延焼防止処置を要する場合は、標準図第2編「電力設備工事」による。 管路の建物外壁貫通部は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ・ 横引き配管等の耐震支持は、標準図第2編「電力設備工事」による。 建築の構造体：・ 免震構造 ・ 制震構造 ・ その他 ・ 建物引込部の耐震処置を行う配管及び建物のエキスパンションジョイント部の配線は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 二重天井内の位置ボックスは、天井面（埋込み形器具の場合を除く。）に取付ける。	3	1. キュービクル式配電盤 (1.1.3) (1.1.4)	・ キュービクル式の構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 制御回路等の配線は、次による。 1. 配線終端は、図面に特記がなければ無はんだ接続とし、配線端には、配線番号及び端子記号を記入した絶縁性のマークバンドを取付ける。 2. 制御回路用の外部配線を接続する場合は、端子1台を設けるものとする。 また、外部との接続用の端子台は、壁1面につき5端子以上の余裕を持たせる。 積算計器は、(※ 検定付 ・ 無検定)とする。 ・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。	5	(1.1.7.1) (1.1.7.2) (1.1.8)	燃料油は、(・ 軽油 (号) ・ 重油 (号))とする。 ・ 潤滑油ドレン用バルブを取付ける。 ・ 配管材料 ()
電力設備工事	② 照明器具 (1.4.1)(1.4.2)	○ 記号及び形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ○ 1.5kgを超えるダウンライト形器具の構造は、標準図第2編「電力設備工事」による。 照明用ポールには、(※ 配線用遮断器 ・ カットアウトスイッチ) を設ける。	(2.1.12)	(2.1.13)	(1.1.5)	2. 高圧スイッチギア (1.2.2)(1.2.4)	スイッチギヤの形は、(・ CX形 ・ CW形 ・ PW形)とする。 ・ 導電部の定格電流 (A) ・ 導電部の定格短時間耐電流 (k A)	2. ガスエンジン発電装置 (1.2.5) (1.2.6.5) (1.2.7.1)	保安装置の外部用端子：・ 設ける ・ 設けない ・ 適用項目 () ・ 原動機の排気ガスに含まれる窒素酸化物の規制値 (以下) 燃料ガス（天然ガス系都市ガス）は、(・ 1.3 A ・ 1.2 A)とする。		
	③ 防災用照明器具 (1.5.1)	・ 形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。	(2.1.13)	(2.2.7)(2.3.7) (2.4.7)(2.10.2)	(1.1.5)	3. 低圧スイッチギア (1.5.2)(1.5.4)	スイッチギヤの形は、(・ CX形 ・ CS形 ・ CW形 ・ FW形)とする。 ・ 導電部の定格電流 (A) ・ 導電部の定格短時間耐電流 (k A)	④ 太陽光発電装置 (1.7.1) (1.7.2) (1.7.4)	系統連系：・ あり ・ なし 自立運転：・ あり ・ なし ・ 太陽光発電装置において最大出力5 0 kW以上の設備及び自家用電気工作物との連系をする場合は、電気主任技術者及び監督職員の立会いのもとに試験を実施する。 ・ 太陽電池アレイ公称出力 (kW) パワーコンディショナは、次による。 交流出力電圧：・ 1 0 0 V 〇 2 0 0 V 出力電気方式：〇 三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式 遠方監視用端子：・ 設ける ・ 設けない		
	④ 分電盤 (1.7.1) (1.7.2) (1.7.3)	種別は一般形とし、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ・ ガタースベースの寸法は、標準図第2編「電力設備工事」による。 キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 接地端子座の形状等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 特に腐食等を考慮すべき場所に使用されるものについては、図示による。 積算計器は、(※ 検定付 ・ 無検定)とする。 ・ 低圧用SPDクラスⅠ (JIS C 5381-1「低圧サージ防護デバイス第11部：低圧配電システムに接続する低圧サージ防護デバイスの要求性能及び試験方法」に規定するクラスⅠ試験によるもの)の性能：() ・ 電力計測装置は、次による。 1. 計測回路数： 回 2. 集中監視部：信号回数数 (回線)、信号種別 () 3. 集中監視部の外部出力端子 () 4. 変成器の定格電流： A 5. 表示器：※ 設ける ・ 設けない 住宅用分電盤に設ける、過電流警報装置の品質及び性能は、次による。 ※ 機材の品質・性能基準 ・ その他 () ・ ハンドル用の鍵は、総数の2 〇 %とし、最低3個とする。 ・ 補修塗料は、各色ごとに、1 〇 〇 cc缶1個とする。	(2.2.7)(2.3.7) (2.4.7)(2.10.2)	⑮ 合成樹脂管配線 (PF管、CP管) (2.3.3)	エキスパンションバスダクト：・ 設ける ・ 設けない (2.9.2)	4. 高圧機器 (1.9.1) (1.9.3) (1.9.4)	交流遮断器の操作方式は、(・ 手動ばね操作方式 ・ 電気操作方式)とする。 電気操作方式の場合は、(・ 電動ばね操作方式 ・ 電磁操作方式)とする。 高圧進相コンデンサの絶縁方式は、(・ 油入 ・ 乾式)とする。 乾式の場合は、(・ モールド ・ ガス入り)とする。 直列リアクトルは、(・ 油入 ・ モールド)とする。 ・ 直列リアクトルの最大許容電流 (%) ・ 避雷器は、動作表示が肉眼点検できるものであって、かつ、特性要素の取替えが容易にできるものとする。 ・ 高圧負荷開閉器を引込柱に設ける場合は、避雷器を内蔵する。	5. 風力発電装置 (1.8.1) (1.8.2) (1.8.3)	風力発電装置の定格出力：※ 2 〇 kW未満 ・ 2 〇 kWを超える () 系統連系：・ あり ・ なし ・ 風車のスケール、材質、形状等 () 移転用の遠方監視用接点：・ 設ける ・ 設けない		
	(1.7.6)	積算計器は、(※ 検定付 ・ 無検定)とする。 ・ 低圧用SPDクラスⅠ (JIS C 5381-1「低圧サージ防護デバイス第11部：低圧配電システムに接続する低圧サージ防護デバイスの要求性能及び試験方法」に規定するクラスⅠ試験によるもの)の性能：() ・ 電力計測装置は、次による。 1. 計測回路数： 回 2. 集中監視部：信号回数数 (回線)、信号種別 () 3. 集中監視部の外部出力端子 () 4. 変成器の定格電流： A 5. 表示器：※ 設ける ・ 設けない 住宅用分電盤に設ける、過電流警報装置の品質及び性能は、次による。 ※ 機材の品質・性能基準 ・ その他 () ・ ハンドル用の鍵は、総数の2 〇 %とし、最低3個とする。 ・ 補修塗料は、各色ごとに、1 〇 〇 cc缶1個とする。	(2.2.7)(2.3.7) (2.4.7)(2.10.2)	⑮ 合成樹脂管配線 (PF管、CP管) (2.3.3)	エキスパンションバスダクト：・ 設ける ・ 設けない (2.9.2)	5. 据付け (2.1.1)	・ キュービクル式配電盤等の基礎は、標準図第3編「受変電設備工事」による。	6. 換気装置 (2.1.7.1) (2.1.7.2) (2.1.7.5)	・ 換気装置は、機間の燃焼用空気の補給、室温上昇の制御及び保守員の必要な空気量等を満足させるものとし、次による。 1. 給気口及び排気口は、チャンバ方式又はダクト方式のいずれかとする。 2. 給気口及び排気口は、室内若しくはパッケージ内の換気が有効に行える位置に設ける。 3. 換気方式は排気ファンを用いる強制換気方式とし、給気は自然給気を標準とする。 4. パッケージには、換気ファンを設ける。 5. 換気ファンは、点検が容易に行える構造とする。 6. ガスタービンの排気口は、危険のないように保護する。 また、給気・排気系統で運転中に異物により閉塞されないように考慮する。 7. 換気装置は、故障表示 (表示及びベル)を行う。		
5.	耐熱形分電盤 (1.8.1)	・ 形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。	(2.10.4.4)	⑯ ケーブル配線 (2.10.1)	マンホール及びびハンドホールは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 管と建物との接続部は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 地中配線からの引込みは、標準図第2編「電力設備工事」による。 地中配線の標識シート等 (※ 設ける ・ 設けない) ・ 管路等の土かぶりは、図示による。 埋設機の敷設は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ()	6. 受変電設備用附属品 (1.9.1) (1.9.3) (1.9.4)	・ 附属品の施設単位及び収納 1. 附属品は、原則として電気室単位とする。 ただし、蓄電池用附属品については、設備箇所単位とする。 2. 附属品を収納する適当な大きさの収納箱を設置する。 ・ 壁側の附属品 点検灯 (LED照明 (100V、100W電球相当、カバー付き)、コード (プラグ付き) 約5 m) を1個納入する。 なお、低圧配電盤が併設される場合は、公仕仕 (電気編) 第2編1.7.7「予備品等」による。 ・ 自家用電気室用附属品 自家用電気室用附属品は、以下のものとし、1以外は図面に特記されたものを備える。 ただし、低圧回路のみの場合は、7から1 〇までは、不要とする 1. 指示板 (記載内容は、監督職員の指示による。) (1) 連絡先板・・・・・・・・・1枚 (400×600mm) (概略寸法) (2) 操作説明板・・・・・・・・・1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (3) 系統図板 (電気系統及び冷却水、燃料配管系統)・・各1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (4) 自家用電気工作物表示板・・・・1枚 (420×600mm) (概略寸法) 2. 消火器 (電気火災及び油火災両用、標識とも) ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備で、建物に延焼のおそれがない場合は除く。 (1) 全出力500kW未満の変電及び発電設備 小型消火器 (1 〇 形程度)・・・・・・・・・2個以上 (2) 全出力500kW以上1,000kW未満の変電及び発電設備 大型消火器 (1 〇 能力単位以上)・・・・・・・・・2個以上 3. 低圧・高圧兼用検電器 (音響、発光併用式) (低圧自家用の場合は、低圧用検電器)・・・・1個以上 4. 回路計 (ケース、リード付き JIS C 1202「回路計」A級)・・・・・・1個 5. クランプメータ (抵抗測定用アダプタ付き)・・・・1個 標準測定範囲…電流 (交流) 0～300 A、電圧 (交流) 0～600 V 6. 絶縁抵抗計 (100M Ω、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 7. 短絡接地器具 (5 m)・・・・・・・・・一式 8. 断路器又は気中開閉器操作用フック棒・・・・・・2本 ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備において屋外用とする場合は、図面に特記する。 9. 絶縁抵抗計 (2,000M Ω、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 10. 絶縁ゴムマット (6 k V用・すべり止め付き)・・・・一式	7. ディーゼル発電設備、ガスエンジン発電設備、ガスタービン発電設備の据付け (2.1.6) (2.1.7.1)	・ 主燃料槽の据付けは、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料小出槽の据付けは、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ()		
6.	開閉器箱 (1.11.1)	・ 形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。	(2.10.4.5) (2.10.4.7)	⑯ 地中配線 (2.12.3)	マンホール及びびハンドホールは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 管と建物との接続部は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 地中配線からの引込みは、標準図第2編「電力設備工事」による。 地中配線の標識シート等 (※ 設ける ・ 設けない) ・ 管路等の土かぶりは、図示による。 埋設機の敷設は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ()	6. 受変電設備用附属品 (1.9.1) (1.9.3) (1.9.4)	・ 附属品の施設単位及び収納 1. 附属品は、原則として電気室単位とする。 ただし、蓄電池用附属品については、設備箇所単位とする。 2. 附属品を収納する適当な大きさの収納箱を設置する。 ・ 壁側の附属品 点検灯 (LED照明 (100V、100W電球相当、カバー付き)、コード (プラグ付き) 約5 m) を1個納入する。 なお、低圧配電盤が併設される場合は、公仕仕 (電気編) 第2編1.7.7「予備品等」による。 ・ 自家用電気室用附属品 自家用電気室用附属品は、以下のものとし、1以外は図面に特記されたものを備える。 ただし、低圧回路のみの場合は、7から1 〇までは、不要とする 1. 指示板 (記載内容は、監督職員の指示による。) (1) 連絡先板・・・・・・・・・1枚 (400×600mm) (概略寸法) (2) 操作説明板・・・・・・・・・1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (3) 系統図板 (電気系統及び冷却水、燃料配管系統)・・各1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (4) 自家用電気工作物表示板・・・・1枚 (420×600mm) (概略寸法) 2. 消火器 (電気火災及び油火災両用、標識とも) ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備で、建物に延焼のおそれがない場合は除く。 (1) 全出力500kW未満の変電及び発電設備 小型消火器 (1 〇 形程度)・・・・・・・・・2個以上 (2) 全出力500kW以上1,000kW未満の変電及び発電設備 大型消火器 (1 〇 能力単位以上)・・・・・・・・・2個以上 3. 低圧・高圧兼用検電器 (音響、発光併用式) (低圧自家用の場合は、低圧用検電器)・・・・1個以上 4. 回路計 (ケース、リード付き JIS C 1202「回路計」A級)・・・・・・1個 5. クランプメータ (抵抗測定用アダプタ付き)・・・・1個 標準測定範囲…電流 (交流) 0～300 A、電圧 (交流) 0～600 V 6. 絶縁抵抗計 (100M Ω、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 7. 短絡接地器具 (5 m)・・・・・・・・・一式 8. 断路器又は気中開閉器操作用フック棒・・・・・・2本 ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備において屋外用とする場合は、図面に特記する。 9. 絶縁抵抗計 (2,000M Ω、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 10. 絶縁ゴムマット (6 k V用・すべり止め付き)・・・・一式	7. ディーゼル発電設備、ガスエンジン発電設備、ガスタービン発電設備の据付け (2.1.6) (2.1.7.1)	・ 主燃料槽の据付けは、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料小出槽の据付けは、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ()		
7.	制御盤 (1.12.1)(1.12.3) (1.12.6)	・ 形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 接地端子座の形状等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。	(2.12.4)	⑰ 電灯設備 (2.14.1)	屋内配線から分岐して照明器具に至る配線及び照明器具電源送り配線は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ・ 質量の大きいもの及び取付け方法の特殊なものは、あらかじめ取付け詳細図を監督員に提出し、協議する。 ・ 照明器具の背面形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ダウンライト形器具の取付けは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ・ 取付け用ビスは、めっきしたもの又はステンレス製とし、電線を損傷しないように最小必要長さにして使用する。 ・ 電気室等に設ける照明器具は、高圧配線及び配電盤等の直上とは避けて、保守点検が容易な場所に取付ける。 ・ 二重天井内に設ける位置ボックス内で屋内配線から分岐して埋込み形照明器具に至る配線は、金属製可とう電線管配線又はケーブル配線とする。 なお、二重天井内に断熱材が施されている場合においては、ケーブルが断熱材に押さえつけられないように施工する。 ・ 共用部分に取付ける器具は、給湯器の排気筒等、熱及び湿気を排出する部分との離隔を十分にとる。 ・ 共用灯の取付け位置は、ランプ交換時等に危険のない場所を選定する。	7. 据付け (2.1.1)	・ キュービクル式配電盤等の基礎は、標準図第3編「受変電設備工事」による。	7. ディーゼル発電設備、ガスエンジン発電設備、ガスタービン発電設備の据付け (2.1.6) (2.1.7.1)	・ 主燃料槽の据付けは、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料小出槽の据付けは、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ()		
8.	電気自動車用充電装置 (1.14.1)(1.14.3) (1.14.4) (1.14.7) (1.14.8)	※ 電気自動車用急速充電装置 ・ 電気自動車用普通充電装置 電気自動車用普通充電装置の定格電圧： V キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 (1.14.4) 電力変換装置の定格直流電圧： V ・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。 移転用の遠方監視用接点：・ 設ける ・ 設けない	(2.12.5)	⑱ 接地 (2.13.14)	接地極埋設標は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ・ D種接地及びC種接地の表示は、特に監督職員の指示するもののみとする。	8. 据付け (2.1.1)	・ キュービクル式配電盤等の基礎は、標準図第3編「受変電設備工事」による。	8. 施工の立会い及び試験 (2.7.1) (2.7.6)	・ 換気装置は、機間の燃焼用空気の補給、室温上昇の制御及び保守員の必要な空気量等を満足させるものとし、次による。 1. 給気口及び排気口は、チャンバ方式又はダクト方式のいずれかとする。 2. 給気口及び排気口は、室内若しくはパッケージ内の換気が有効に行える位置に設ける。 3. 換気方式は排気ファンを用いる強制換気方式とし、給気は自然給気を標準とする。 4. パッケージには、換気ファンを設ける。 5. 換気ファンは、点検が容易に行える構造とする。 6. ガスタービンの排気口は、危険のないように保護する。 また、給気・排気系統で運転中に異物により閉塞されないように考慮する。 7. 換気装置は、故障表示 (表示及びベル)を行う。		
9.	雷保護装置 (1.16.2) (1.16.3) (1.16.4)	突針の支持管は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 試験用接続端子箱の形式等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 引下げ導線及び避雷導線の構造体への接続金物は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ()	(2.12.4)	⑱ 接地 (2.13.14)	接地極埋設標は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ・ D種接地及びC種接地の表示は、特に監督職員の指示するもののみとする。	9. 据付け (2.1.1)	・ キュービクル式配電盤等の基礎は、標準図第3編「受変電設備工事」による。	9. 発電設備室用附属品等 (2.1.7.1) (2.1.7.2) (2.1.7.5)	・ 換気装置は、機間の燃焼用空気の補給、室温上昇の制御及び保守員の必要な空気量等を満足させるものとし、次による。 1. 給気口及び排気口は、チャンバ方式又はダクト方式のいずれかとする。 2. 給気口及び排気口は、室内若しくはパッケージ内の換気が有効に行える位置に設ける。 3. 換気方式は排気ファンを用いる強制換気方式とし、給気は自然給気を標準とする。 4. パッケージには、換気ファンを設ける。 5. 換気ファンは、点検が容易に行える構造とする。 6. ガスタービンの排気口は、危険のないように保護する。 また、給気・排気系統で運転中に異物により閉塞されないように考慮する。 7. 換気装置は、故障表示 (表示及びベル)を行う。		
	⑪ 外線材料 (1.18.6)	マンホール、ハンドホール及び鉄ふたの形式等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () ブロックマンホール及びブロックハンドホールの荷重、土圧等の構造条件は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 () 埋設標は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ()	(2.12.5)	⑲ 動力設備 (2.15.1)	電動機への配線は、標準図第2編「電力設備工事」による。 電機棒への配線は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ()	<					

6

通信・情報設備工事

①

配線器具
(1.3.2)
(1.3.3)

②

端子盤・機器収納ラック等
(1.4.2)
(1.4.4)
(1.4.5)

3. 構内情報通信網装置
(1.5.1)～(1.5.9)

4. 情報表示装置
(1.7.4.1)(1.7.4.2)
(1.7.4.6)

5. 拡声装置
(1.9.1)(1.9.4)

6. 誘導支援装置
(1.10.1)
(1.10.4)
(1.10.7)
(1.10.11)
(1.10.13)
(緊急通報装置)

⑦

テレビ共同受信装置
(1.11.1)(1.11.2)

8. テレビ電波障害防除装置
(1.12.1)(1.12.3)

9. 監視カメラ装置
(1.13.1)～(1.13.5)

10. 駐車場管制装置
(1.14.1)(1.14.2)
(1.14.5)

11. 自動火災報知装置
(1.16.4)
(1.16.7)

12. 非常警報装置
(1.18.1)

13. 機材の試験
(1.21.1)

14. 地中配線
(2.11.3)

・ 光ファイバの接続に使用するコネクタ ()

・ 同軸ケーブルの接続に使用するコネクタ ()

端子盤及び集合保安装置の形式等は、次による。
※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」
・ その他 ()
屋内用キャビネットの構成材は、(※ 銅板 ・ ステンレス)とする。
端子板は、次による。
※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」
・ その他 ()
・ 通信用SPDカテゴリD1の性能 ()

・ 主要機器の種類、性能、定格、数量等は、図示による。

・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。
観時計の時刻補正方式： ・ GPS方式 ・ 標準電波方式
観時計の時刻同期装置： ・ 設ける ・ 設けない
・ 太陽電池式ボール形屋外時計は、次による。
内照式時計の点灯時間及び不日照時の点灯保証日数 ()
時刻補正方式： ・ GPS方式 ・ 標準電波方式

・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。
FMアンテナの品質及び性能は、次による。
※ 優良住宅部品（B.L部品）
・ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()

形式等は、次による。
※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」
・ その他 ()
テレビインターホン（親機）で撮像範囲を調整する機能： ・ あり ・ なし
テレビインターホン（子機）で撮像範囲を調整する機能： ・ あり ・ なし
トイレ等呼出装置の通話機能： ・ 設ける ・ 設けない
住宅情報壁装置の品質及び性能は、次による。
※ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()
電気制御式宅配ボックス装置の品質及び性能は、次による。
※ 優良住宅部品（B.L部品）
・ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()
緊急通報装置は、高齢者が安心して生活が送れるように側面からサポートし、入居者のプライバシーを損うことなく、暮らしや住まい、健康等を間接的又は自動的に管理を行う設備とし、構成機器は、図示による。

・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。

テレビ機器の品質及び性能は、次による。
※ 優良住宅部品（B.L部品）
・ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()

・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。

屋外に設置する機器収容箱は、
(・ 合成樹脂製 ・ アルミダイキャスト製 ・ 鋳鉄製 ・ 銅板製)とする。

・ 主要機器の種類、性能、定格、数量等は、図示による。
・ 機器収納ラックは、次による。
1. 前面厚は、かぎ付きとする。
2. 側面パネルは、容易に開放できない構造とする。

・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。
・ 制御部の機能 ()
発行券： ・ 磁気式 ・ ICカード式 ・ その他
・ 発券方式 ()

・ 表示装置 ()

・ スポット型感知器は、特記がなければ露出形とする。

端子盤の性能試験は、次による。
※ 公仕仕（電気編）第6編表1.21.1「端子盤の試験」
・ その他 ()
FMアンテナの試験は、次による。
※ 優良住宅部品（B.L部品）
・ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()
住宅情報壁装置の試験は、次による。
※ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()
電気制御式宅配ボックス装置の試験は、次による。
※ 優良住宅部品（B.L部品）
・ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()
テレビ機器の試験は、次による。
※ 優良住宅部品（B.L部品）
・ 機材の品質・性能基準
・ その他 ()

地中配線の標準シート等 (※ 設ける ・ 設けない)

⑮

接地の施工
(2.12.2)

通信・情報設備工事

⑯

接地を施す機器は、次表による。

接地を施す機器	接地抵抗値〔Ω〕	接地線の太さ〔mm〕
主端子盤及び保安装置を有する端子盤	100 以下	1.6 以上
ヘッドエンド、増幅器、電源供給器、保安器、メッセンジャワイヤ	100 以下	1.6 以上
拡声用増幅器	100 以下	1.6 以上

○ 接地線は、強電の接地と共用してはならない。
ただし、建物内に設ける増幅器等の機器接地は、この限りではない。
・ 主端子盤及び保安装置を収容する端子盤には、1.6mm以上の絶縁電線（鉄骨又は鉄筋に接続する場合は裸線）を用いて接地設備（100Ω以下）を施す。
ただし、建物の接地抵抗値が上表以下の場合は、交換機室用及び本配線室用を除き、建物の鉄筋等に接続すればよい。この場合、配管等を通じて接続されていても差し支えない。

・ 機器の取付けは、次による。
1. 室内にアウトレットボックスを設ける場合は、プレートを取付ける。
ただし、プレートの材質は合成樹脂製とし、用途表示を行う。
2. 主端子盤、中間端子盤及び室内端子盤は、原則として床面から上端が2m以下、下端が0.2m以上となるように取付ける。
3. 端子盤への通信線用配管は、中央部を避けて箱の四隅に取付ける。

アンテナマストの取付けは、次による。
※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」
・ その他 ()
・ 受信調査を行うチャンネル ()

・ 事前調査を行う箇所数 ()
・ 事前調査を行うチャンネル ()

・ 検知器の間隔及び取付け高さは、図示による。

・ 構内情報通信網設備の試験数量は、図示による。

7

中央監視装置
(1.1.1)
(1.2.1)

3. 簡易形監視制御装置
(1.3.1)(1.3.2)
(1.3.4)

4. 監視制御装置
(1.4.1)(1.4.2)
(1.4.4)

通信・情報設備工事

・ 信号の入出力条件は、標準図第6編「中央監視制御設備工事」による。

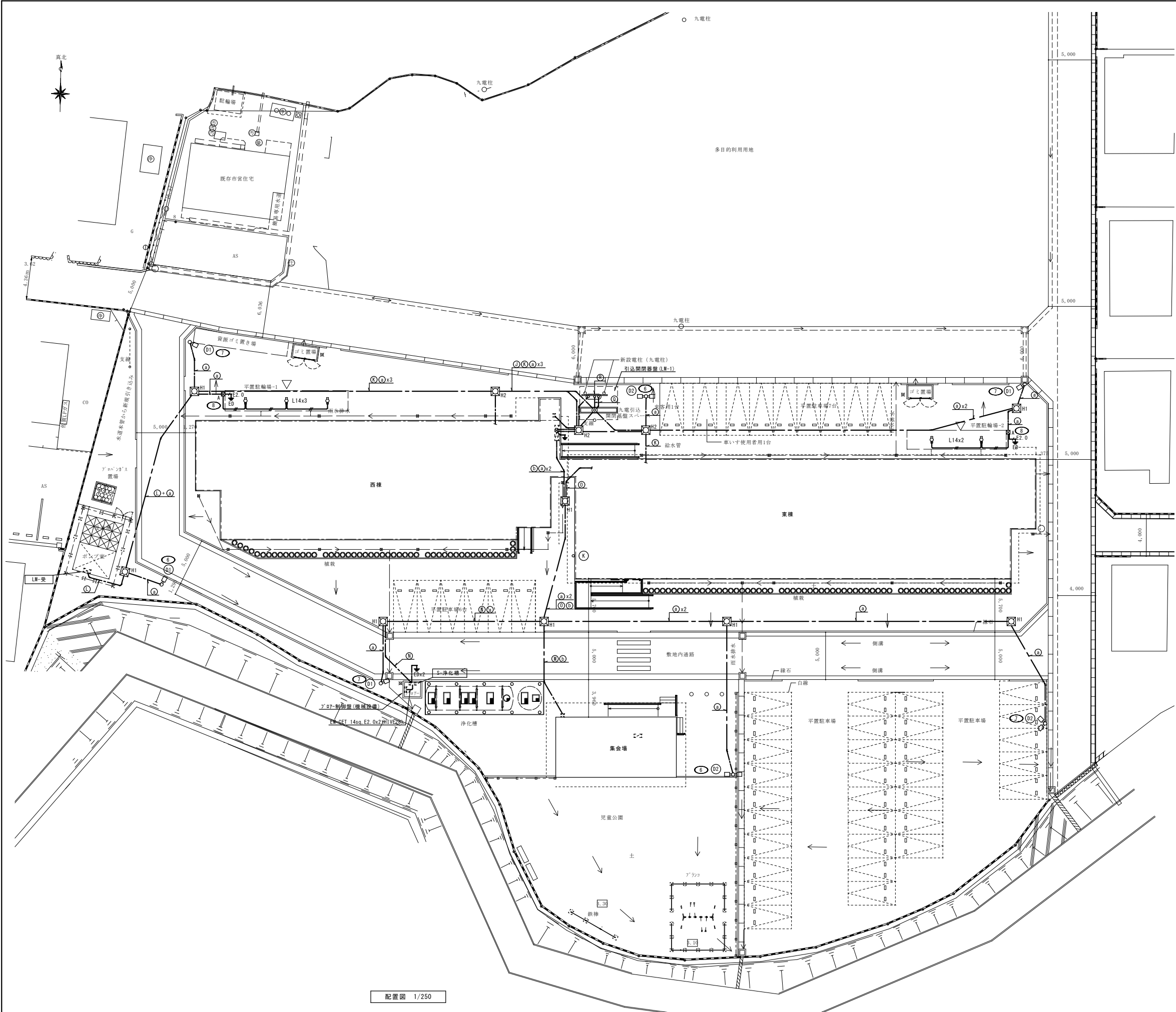
・ 信号の伝送方式 ()

・ 簡易監視制御装置の機能は、図示による。
・ 監視操作装置の機器構成は、図示による。
・ 帳票用印字装置 ()

・ 監視制御装置の機能は、図示による。
・ 監視操作装置の機器構成は、図示による。
・ キャビネット ()
・ 帳票用印字装置 ()

【表－1】各工事の区分表

工 事 項 目	建築	電気	機械	昇降	外構	備 考
躯体への貫通孔						
貫通孔の材料	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
貫通孔の引出し	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
貫通孔の取付け	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
貫通孔の補強	○					
屋上						
機器及び水槽類の基礎	○					
同上基礎のアンカーボルト設置	○		○	○		
同上基礎の防水	○					
昇降機						
昇降機の躯体	○					
機械室の躯体	○					
機械室の床開口	○					
機械室天井フック	○					
ガイドレール下地	○					
ピット防水	○					
押しボタン、インジケータ	○					
三方栓、基盤取付け				○		
三方栓廻り隠まし				○		
機械室換気設備				○		
制御盤から外部インターホンまでの配管、配線				○		
点検用コンセント		○				
その他						
インサート	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
ALC板の壁開口及び補強	○					
押出成形セメント板の壁開口及び補強	○					
堅種、ドレン	○					
堅種から第一樹までの接続	○					
第一樹以降の排水設備					○	
ハンドホール等の化粧蓋		○	○			
消火器			○			
消火器ボックス	○					
テレビアンテナ		○				
避雷針		○				
浄化槽			○			
受水槽			○			
ゴミ置き場					○	
自転車置き場					○	
軽量天井・壁下地及び木天井・壁下地						
墨出し	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事
開口補強	○					
手すり下地補強	○					
吊り戸下地補強	○					
洗面化粧台下地補強	○					
天井・壁せこうボード						
ボード切込み	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事
台所廻り						
キッチンユニット（流し台、ガス台、吊り戸）	○					
レンジフード			○			
棚下灯			○			
洗面所・浴室廻り						
洗面化粧台			○			
洗濯パン			○			
浴室ユニット	○					
浴室ユニット内照明器具	○					
浴室ユニット内水栓	○					
バスタオル掛け	○					
便所廻り						
衛生陶器			○			
補助手すり	○					
タオル掛け	○					
紙巻き器			○			
その他						
床・壁・天井点検口	○					
クーラースリーブ及びキャップ	○					
室外機用吊りボルト	○					
床暖房			○			



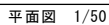
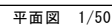
①	EM-CET 100sqx2 (FEP100) x2	地中	1Φ3W	住戸電灯幹線 西棟	GL-600
	EM-CET 60sqx2, E14sq (FEP100)	"	1Φ3W	住戸電灯幹線 西棟	
	EM-CET 100sqx2 (FEP100) x2	地中	1Φ3W	住戸電灯幹線 東棟	
②	EM-CET 60sqx3, E14sq (FEP100)	"	1Φ3W	住戸電灯幹線 東棟	GL-600
	上記+ ①				
	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	3Φ3W	LM-受	
③	EM-CE 5.5sq-3C (FEP30)	"	1Φ3W	LM-受	GL-600
	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	1Φ3W	L-C	
④	EM-CE 8sq-3C (FEP30)	"	3Φ3W	太陽光発電	GL-600
	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	3Φ3W	S-浄化槽	
⑤	EM-CE 8sq-3C (FEP30)	"	3Φ3W	太陽光発電	GL-600
	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	1Φ3W	L-C	
⑥	EM-CET 14sq (FEP30)	"	3Φ3W	S-浄化槽	GL-600
	EM-CE 5.5sq-4C (FEP30)	地中	1Φ3W	LT-共用	
⑦	EM-CE 8sq-3C, E2.0 (FEP30)	"	3Φ3W	ELV制御盤	GL-600
	EM-CET 100sq (FEP80) x6	地中	1Φ3W	引込み	
⑧	EM-CET 22sq (FEP50)	"	3Φ3W	引込み	GL-600
	EM-CET 100sq (ZGP82) x6	露出	1Φ3W	引込み	
⑨	EM-CET 22sq (ZGP42)	"	3Φ3W	引込み	

⑩	EM-CE 5.5sq-2C (FEP30)	地中	1Φ2W	外灯、駐輪場	GL-600
	EM-EBT 0.4-2P (FEP30)	地中	TEL	集会場	
⑪	EM-S-7C-FB (FEP30)	"	TV	集会場	GL-600
	(FEP30)	"	予備	集会場	

注) 1. 图中ハンドホールは下記による。
H1 --- H1-9, R8K60
H2 --- H2-9, R8K60
注) 2. 图中ブルボックスは下記による。
☒A --- 150x150x100 SUS WP

配線リスト	
	EM-EEF 1.6-3C (HIVE22) 露出

配置図 1/250



配線リスト

	EM-IE 2.0x2, E2.0 (HIVE16) ㊦㊦㊦
	EM-IE 1.6x2, E1.6 (HIVE16) "
	EM-IE 1.6x4, E1.6 (HIVE16) "

[illegible]

屋名称・電源種別 幹線記号・主幹開閉器	分岐	回路 No.	200	100	MCCB	ELB	P・AF/AT	容量	備考
LT-共用壁 鋼板製屋内盤併（自立）型								(VA)	
1Φ3W 210~105V -H- 5.5sq	ELB 3P 50/30A	(火)		○	○		2P 50/20	100	火災報知受信機
		(※1)		○	○		2P 50/20		非常照明（西棟）
		(※2)		○	○				非常照明（東棟）
		1A		○	○			500	共用灯（西棟）
		1B		○	○			500	共用灯（東棟）
		2		○	○			500	ブースター他コンセント
		3		○	○			1,000	コンセント
		4		○	○			1,000	ELV点検用コンセント
		5		○	○			1,000	ELV新御壁
AS		6		○	○		2P 50/20	500	外灯（1） AS + 9f7-
		7		○	○		2P 50/20	500	外灯（2） AS + 9f7-
		8		○	○		2P 50/20	200	駐輪場 AS + 9f7-
				○	○		2P 50/20		予備
				○	○				予備
				○	○				予備
セパレーター									

- ED
- ED (ELB)
- ED (TEL)

・電話保安器スペース ・火災報知受信機 P-1-10L相当x2-s

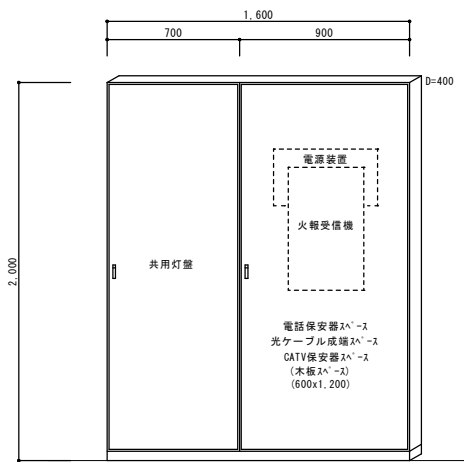
・光ケーブル成端スペース ・同上電源部スペース

・CATV保安器スペース

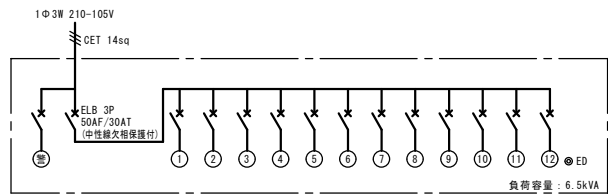
(W600, H1,000程度)

開閉器盤 S-淨化槽

主開閉器	回路No	開閉器	負荷容量	備 考
S-淨化槽 鋼板製屋內壁掛型 1Φ 3W 210-105V -H- 14sq LWA				
		MCCB 3P 50AF/50AT	3.00kVA	(10.00kVA)
		MCCB 3P 50AF/30AT	3.00kVA	淨化槽制御盤
		ELCB 3P 50AF/50AT	10.00kVA	太陽光発電（逆接可能型）



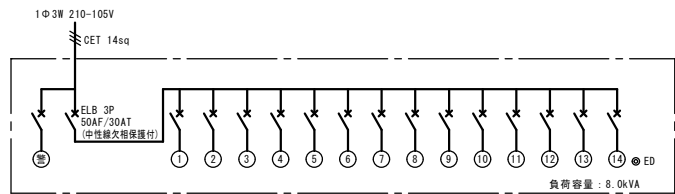
LT-共用盤姿図（参考）
（寸法は参考とする）

[illegible]

L-A 住戸電灯分電盤 (既製品)

L-B 住戸電灯分電盤

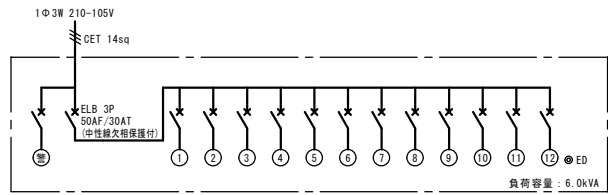
回路番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
エリア名称	1F 情報館 玄関地下 駐車室	2F 1号机	OK	洋室2	冷蔵庫	洗濯機	便所 脱衣所	個室 エフアン	DK エフアン	洋室2 エフアン	洋室1	DK [H]バト	予備	予備
分岐アレーカ	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A
電圧(V)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	100	100



L-B 住戸電灯分電盤 (既製品)

L-C 集会場電灯分電盤

回番号	非	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
回名称	非常用	廊下 照明	集会室	廊下 照明	IC コト	湯沸室 コト	集会室 コト	集会室 コト	集会室 コト	17F コト	17F コト	予備	予備
分岐ブレーカ	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A	2P1E 20A
電圧(V)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	100	100



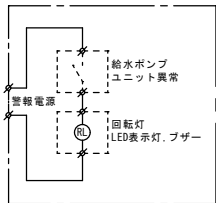
L-C 住戸電灯分電盤 (既製品)

受水槽盤 LM-受

盤名称・電源種別 幹線記号・主幹開閉器	分岐 回路 No.	電圧 (V)		分岐回路		容量	備 考
		200	100	MCCB	ELB P・AF/AT		
LM-受 1Φ3W 210~105V -2H- 5.5sq							
 MCCB 3P 50/20A	1		○	○	2P 50/20	500	照明・コンセント
	2		○	○	2P 50/20		警報電源
	3		○	○	2P 50/20		予備
3Φ3W 210W -2H- 14sq						(kW)	
 MCCB 3P 50/30A	A	○		○	3P 50/30	3.70	ポンプ制御盤
	B	○		○	3P 50/15	0.20	減速機
	C	○		○	3P 50/20		予備

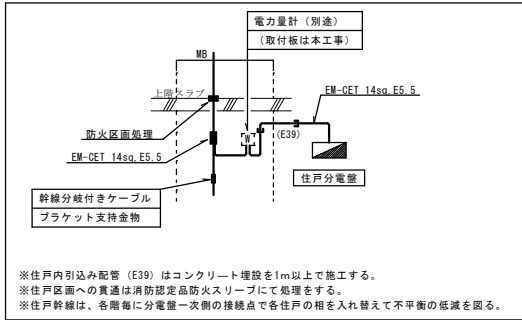
● ED

● ED (ELB)



受水槽盤 LM-受 (参考図)

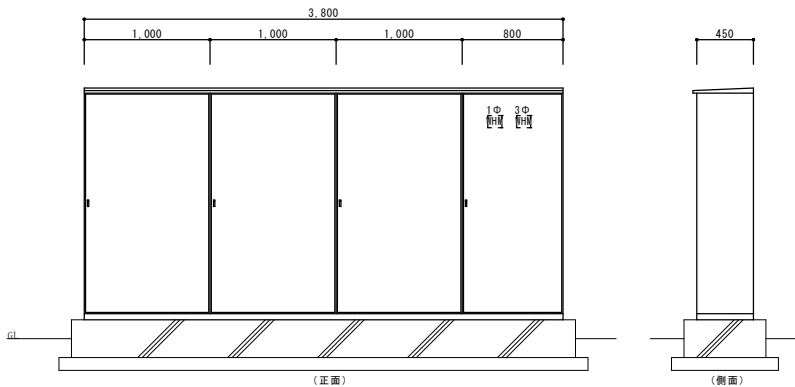
住戸分電盤周り詳細図



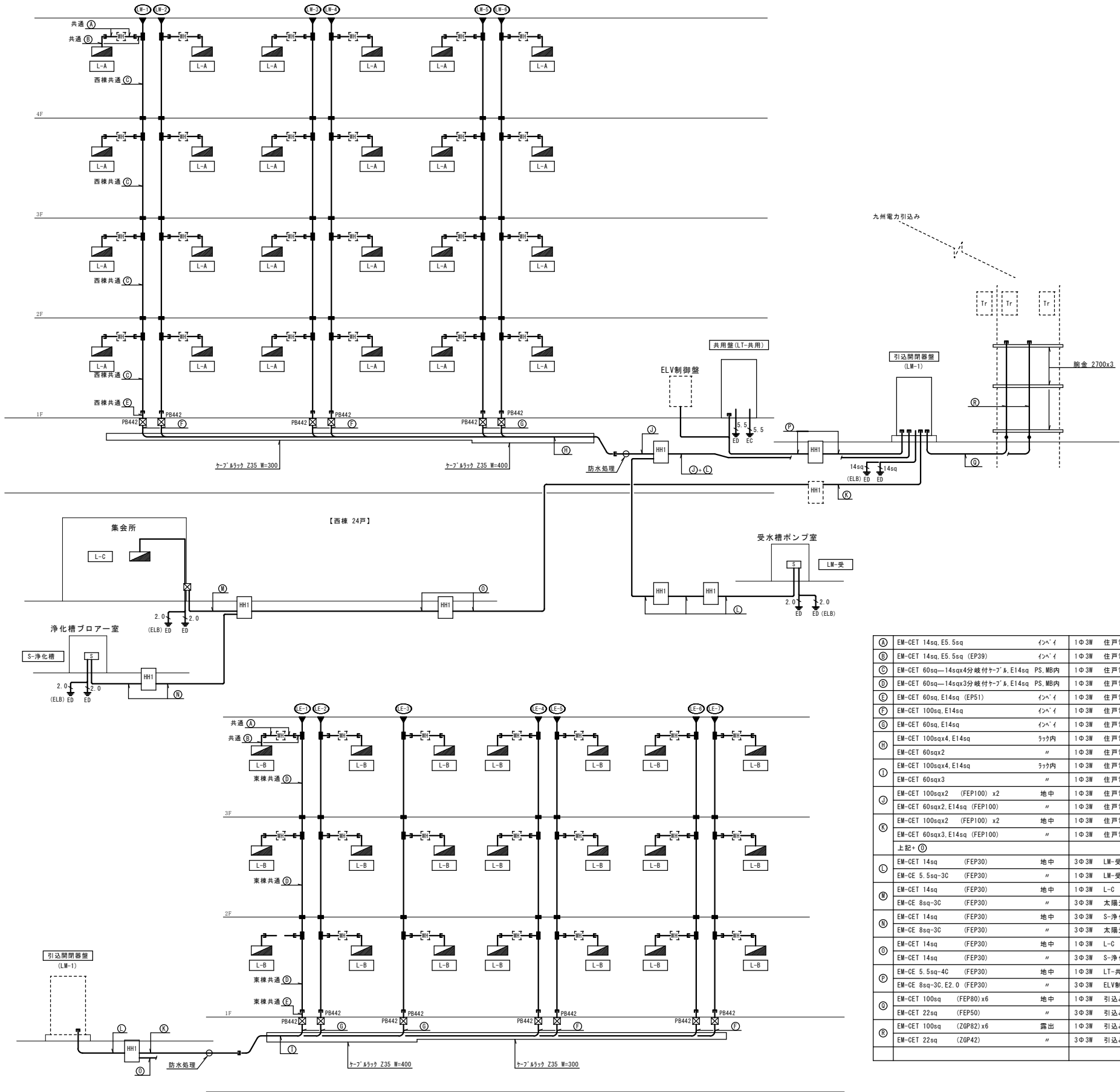
注) 本工事における全ての防火区画貫通部は、
国土交通大臣認定工法 (認定番号 床PS060FL-0050,
壁 PS060WL-0293) 又は、前後1m金属管にて配管保護とする。

凡 例

記号	名称・仕様	備 考
	住戸分電盤	既製品樹脂製、扉付
	積算電力計	電力会社
	ブルボックス	PB 400x400x200 SUS WP
	防火処理	
	防火区画処理	国土交通大臣認定工法
	幹線分岐付ケーブル	EM-CET 60sq—CET 14sqx3, x4
	ケーブルクリップ	EM-CET 60sq用
	ハンドホール	



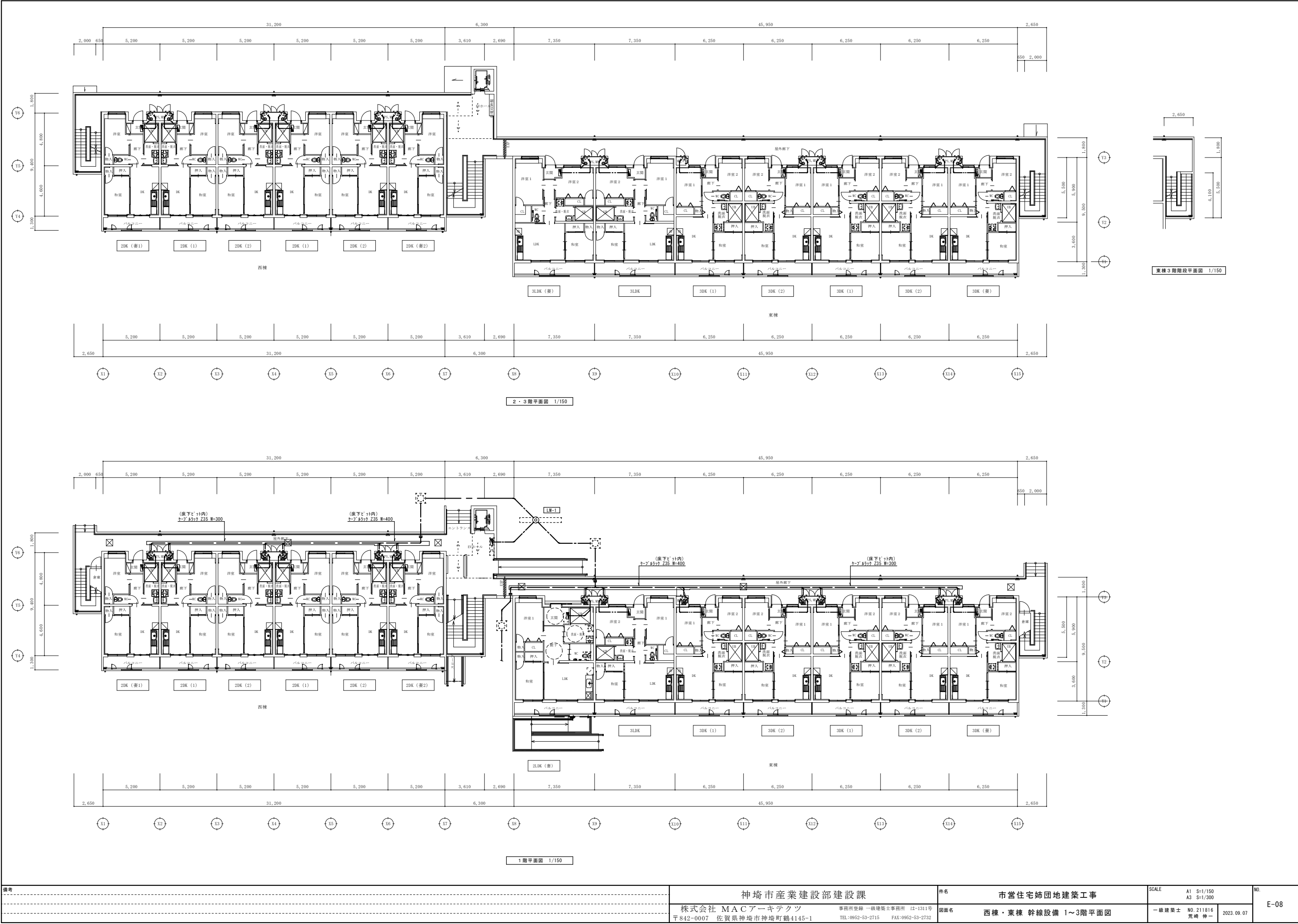
引込閉閉器壁 LM-1 姿図 (参考)



【西棟 24戸】

電力幹線系統図

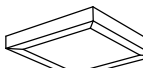
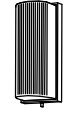
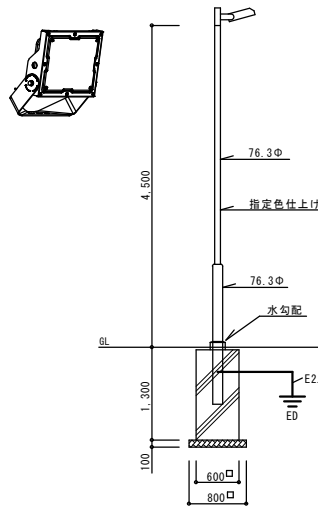
①	EM-CET 14sq, E5, 5sq	1Φ3W	住戸電灯
②	EM-CET 14sq, E5, 5sq (EP39)	1Φ3W	住戸電灯
③	EM-CET 60sq—14sqx4分岐付ケーブル, E14sq PS, MB内	1Φ3W	住戸電灯幹線 西棟
④	EM-CET 60sq—14sqx3分岐付ケーブル, E14sq PS, MB内	1Φ3W	住戸電灯幹線 東棟
⑤	EM-CET 60sq, E14sq (EP51)	1Φ3W	住戸電灯幹線
⑥	EM-CET 100sq, E14sq	1Φ3W	住戸電灯幹線
⑦	EM-CET 60sq, E14sq	1Φ3W	住戸電灯幹線
⑧	EM-CET 100sqx4, E14sq	1Φ3W	住戸電灯幹線 西棟
⑨	EM-CET 60sqx2	1Φ3W	住戸電灯幹線 西棟
⑩	EM-CET 100sqx4, E14sq	1Φ3W	住戸電灯幹線 東棟
⑪	EM-CET 60sqx3	1Φ3W	住戸電灯幹線 東棟
⑫	EM-CET 100sqx2 (FEP100) x2	地中	1Φ3W 住戸電灯幹線 西棟
⑬	EM-CET 60sqx2, E14sq (FEP100)	地中	1Φ3W 住戸電灯幹線 西棟
⑭	EM-CET 100sqx2 (FEP100) x2	地中	1Φ3W 住戸電灯幹線 東棟
⑮	EM-CET 60sqx3, E14sq (FEP100)	地中	1Φ3W 住戸電灯幹線 東棟
⑯	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	3Φ3W LM-受
⑰	EM-CET 5.5sq-3C (FEP30)	地中	1Φ3W LM-受
⑱	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	1Φ3W L-C
⑲	EM-CET 8sq-3C (FEP30)	地中	3Φ3W 太陽光発電
⑳	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	3Φ3W S-浄化槽
㉑	EM-CET 8sq-3C (FEP30)	地中	3Φ3W 太陽光発電
㉒	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	1Φ3W L-C
㉓	EM-CET 14sq (FEP30)	地中	3Φ3W S-浄化槽
㉔	EM-CET 5.5sq-4C (FEP30)	地中	1Φ3W LT-共用
㉕	EM-CET 8sq-3C, E2.0 (FEP30)	地中	3Φ3W ELV制御壁
㉖	EM-CET 100sq (FEP80) x6	地中	1Φ3W 引込み
㉗	EM-CET 22sq (FEP50)	地中	3Φ3W 引込み
㉘	EM-CET 100sq (ZGP82) x6	露出	1Φ3W 引込み
㉙	EM-CET 22sq (ZGP42)	露出	3Φ3W 引込み



備考	神崎市産業建設部建設課				件名	市営住宅姉団地建築工事		SCALE	A1 S=1/150 A3 S=1/300	No. E-08
	株式会社 MACアーキテクト				図面名	西棟・東棟 幹線設備 1～3階平面図	一級建築士 NO. 211816 荒崎 伸一	2023.09.07		
	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴4145-1									
事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号 TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732										



備考	神崎市産業建設部建設課				件名	市営住宅姉団地建築工事		SCALE	A1 S=1/150 A3 S=1/300	NO. E-09
	株式会社 MACアーキテツ 事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴4145-1 TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732				図面名	西棟・東棟 幹線設備 4・屋根階平面図		一級建築士 NO.211816 荒崎 伸一	2023.05.10	

LED シーリング FCL30W形 WP		E48 LSS9-4-48		J LEDポーチライト 60型 WP																								
		E30 LSS9-2-30																										
		E15 LSS9-2-15																										
																												
プラスチック（オフブラック） カバー：アクリル（乳白） 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 器具光東865lm、消費電力10.7W、電圧100V 電球色（2,700K）、Ra83				拡散タイプ、防雨型 本体：プラスチック（ホワイト） 器具光東515lm、消費電力7.1W、電圧100V 電球色（2,700K）、Ra83 ツマミネジ方式、明るさセンサ付																								
B8	LRS1-08	F	LED FHP23形x3相当 直付	K	LEDポーチライト 20形 SUS WP																							
B5	LRS1-05																											
																												
口400、乳白パネル 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） 枠：銅板（高反射白色粉体塗装） 昼白色（5,000K）、Ra83		口400、乳白パネル 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） 枠：銅板（高反射白色粉体塗装） 昼白色（5,000K）、Ra83		本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 器具光東1,480lm、消費電力14.9W、電圧100～242V 5,000K、Ra83、光源寿命40,000時間（光東維持率85%）																								
C	LED 20W形 WP	G	LEDポーチライト 40形 WP	L46	LSS1MP/RP-4-46																							
				L14	LSS1MP/RP-2-14																							
																												
カバー：アクリル（乳白） 拡散タイプ、防雨型 器具光東855lm、消費電力9.7W、電圧100V 昼白色（5,000K）、Ra83		（ワイドタイプ）、カバー：アクリル（乳白） 器具光東250lm、消費電力4.3W、電圧100V 電球色（2,700K）、Ra83 ツマミネジ方式、防雨型																										
D1	LED投光器 HF100W型 1灯用	H	LEDポーチライト 20形	a1	K1-LRS11-1 非常照明 BT付																							
D2	LED投光器 HF100W型 2灯用																											
D1:NYS15071LE7 + DYDX4066 + YD4509HN 相当 D2:NYS15071LE7 + DYDX5015 + YD4509HN 相当																												
		拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） 器具光東980lm、消費電力12W、電圧100V 昼白色（5,000K）、Ra83		<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>2.8</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>8.5</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>6.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.9</td></tr></table>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																								
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8																							
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1																							
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9																							
本体：アルミ（ミディアムグレーメタリック） パネル：ポリカーボネート（透明つや消し） 光東4,600lm、消費電力32.7W、電圧100V/200V 昼白色、5,000K、Ra70、光源寿命6万時間（光東維持率80%） 保護等級IP65、耐風速6.0m/s 電源内蔵型、ワイド配光 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV		防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 カバー：アクリル（乳白） 器具光東705lm、消費電力7.8W、電圧100V 電球色（2,700K）、Ra83		<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td></tr></table>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																								
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9																							
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9																							
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6																							
		I	LED シーリングライト WP	a2	K1-LSS11-2 非常照明 BT付																							
																												

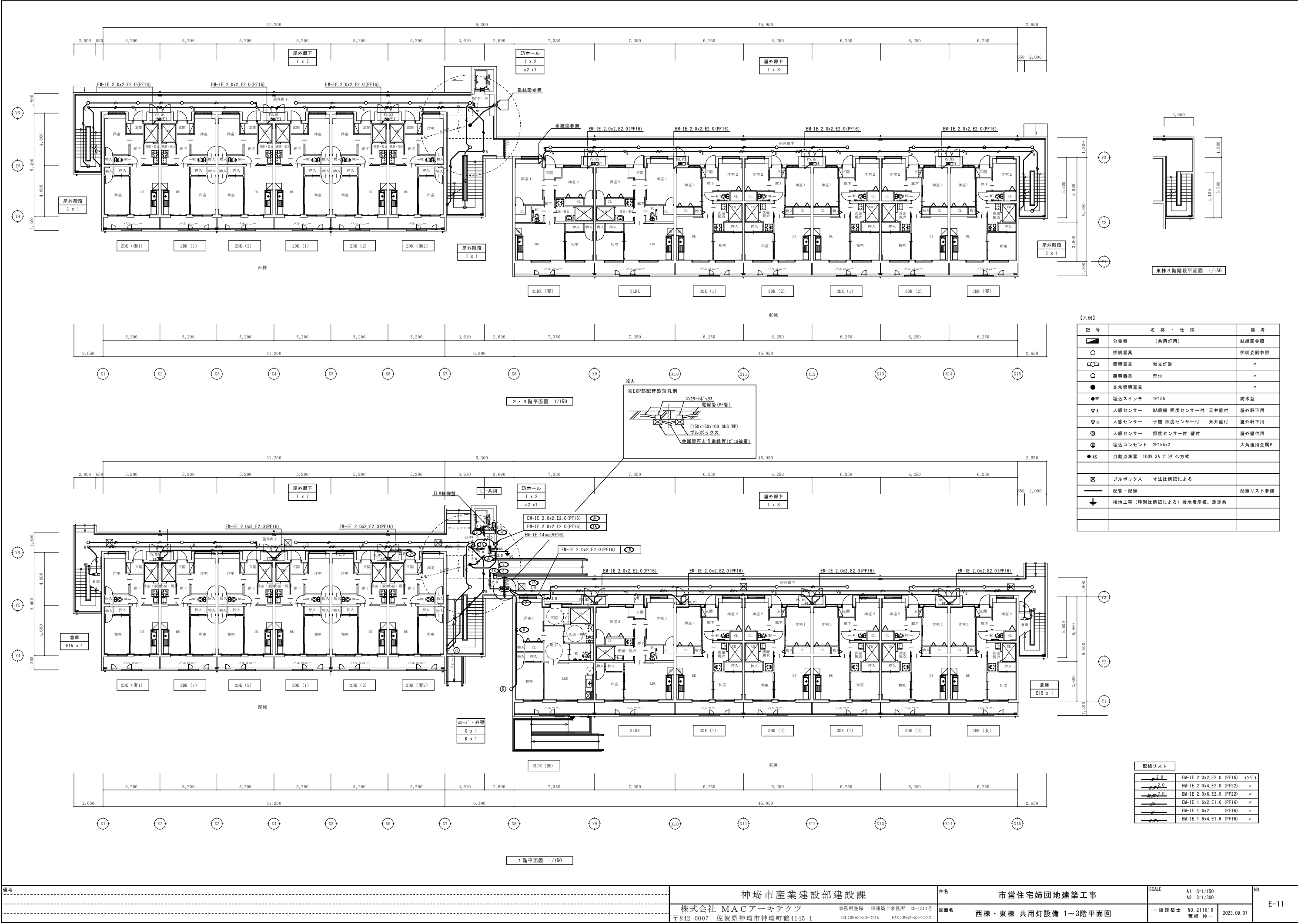
照明器具姿図

【凡例】

記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
●	埋込スイッチ 1P15A	ワイド型
●3	” 3W15A	”
●L	” 1P15A(位置表示付き)	”
⓪	埋込コンセント 2P15Ax2	”
⓪AG	” 2P15/20A EET付 (天井面取付)	”
⓪E	” 2P15Ax1 E付	”
⓪EET	” 2P15Ax1 EET付	”
⓪2EET	” 2P15Ax2 EET付	”
⓪G	” 2P15Ax2 (ガス漏れ検知器用)	”
⓪X	埋込コンセント+TV受口 2P15Ax2 + TV受口	”
⓪X	埋込コンセント+LAN受口+TEL受口 2P15Ax2 + MJ8P8C + MJ6P2C	”
⓪D	天井引掛シーリング (コンセント・耳付)	
⓪	埋込コンセント 2P15A(LK)x1 レンジフード用	
⓪ERP	防雨コンセント 2P15A ET付	
△	住戸分電盤 (樹脂製扉付)	結線図参照
⓪	電力量計取付板 (単相3線60A用)	
⓪	情報通信盤 (樹脂製・TEL・LAN・TV機器スペース)	
⓪	ケーブル引出用プレート	
⓪WP	防雨入線カバー	
▽	人感センサー 換気扇用端子付き (照度センサー付)	
⓪	給湯器用リモコンスイッチ	機械設備工事
⓪	インターホン関連子機	
⓪	住宅情報盤	
⓪	照明器具 直付型	照明器具姿図参照
⓪	” ダウンライト	”
⓪	” 流元灯	”

凡例(防火区画処理)

⓪(19)	防火区画処理 (19) 壁、床共用
⓪(25)	防火区画処理 (25) 壁、床共用
⓪(31)	防火区画処理 (31) 壁、床共用
⓪(39)	防火区画処理 (39) 壁、床共用
⓪(51)	防火区画処理 (51) 壁、床共用
⓪(63)	防火区画処理 (63) 壁、床共用
⓪(75)	防火区画処理 (75) 壁、床共用
※区画壁に取付ける位置ボックスは鋼板製とする。	
注) 防火区画貫通処理は、建築基準法施行令 112 条第 20 項及び第 129 条の 4 第 1 項第 7 号に適合した方法にて にて施工とする。 区画貫通処理材 (国土交通大臣認定) 及び居住区画貫通処理材 (日本消防設備安全センター認定品) を使用 する場合は、仕様書を監督員に提出し、承諾を得ること。	
防火区画貫通処理材 (参考)	国土交通大臣認定番号 ・ 壁：PF管及びケーブル+PF管貫通処理材 (PSO60WL-0372) ・ 壁：ケーブル貫通処理材 (PSO60WL-0297) ・ 床：ケーブル及びPF管、ケーブル+PF管貫通処理材 (PSO60WL-0372) 日本消防設備安全 センター性能評定番号 (KK19-144号)
居住区画貫通処理 (消防検査) 原則、各階ごとに検査を受検すること。 検査の時期及び検査箇所は所轄消防署と打合せを行うこと。	

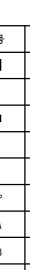


記号	名称・仕様	備考
■	分電盤 (共用灯用)	結線図参照
○	照明器具	照明図参照
□	照明器具 蛍光灯形	〃
○	照明器具 壁付	〃
●	非常照明器具	〃
●	埋込スイッチ 1P15A	防水型
▽A	人感センサー 8A観機 照度センサー付 天井直付	屋外軒下用
▽B	人感センサー 子機 照度センサー付 天井直付	屋外軒下用
◎	人感センサー 照度センサー付 壁付	屋外壁付用
Ⓜ	埋込コンセント 2P15Ax2	大角通用金属P
●AS	自動点滅器 100V 3A プラグ方式	
☒	ブルボックス 寸法は傍記による	
—	配管・配線	配線リスト参照
⚡	接地工事 (種別は傍記による) 接地表示板、測定具	

配線リスト		
— 2.0	EM-IE 2.0x2.E2.0 (PF16)	イノベイ
— 2.0	EM-IE 2.0x4.E2.0 (PF22)	〃
— 2.0	EM-IE 2.0x6.E2.0 (PF22)	〃
— 1.6x2	EM-IE 1.6x2.E1.6 (PF16)	〃
— 1.6x2	EM-IE 1.6x2 (PF16)	〃
— 1.6x4	EM-IE 1.6x4.E1.6 (PF16)	〃



屋根伏図 1/150



屋根伏図 1/150



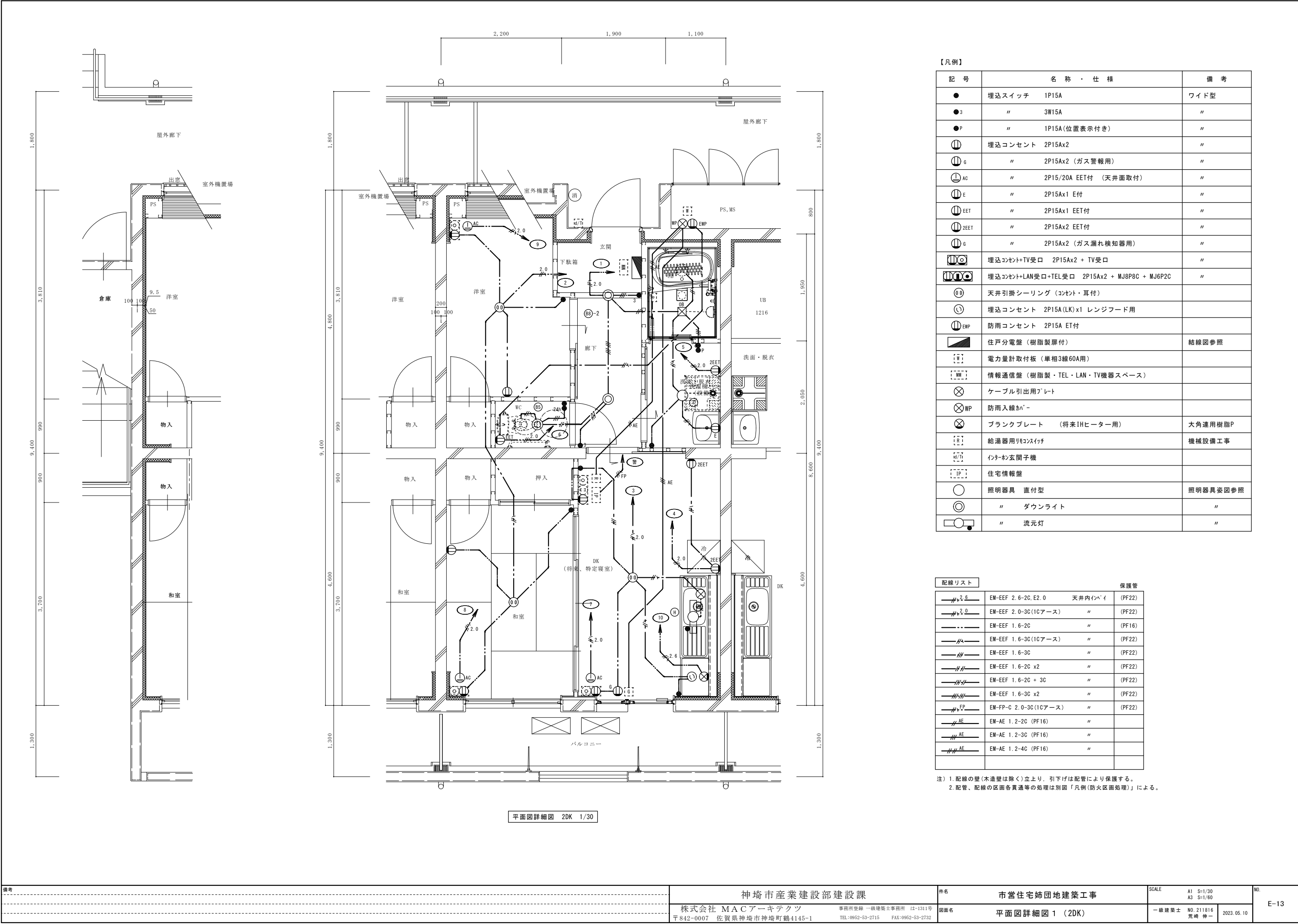
4 階平面図 1/150



4 階平面図 1/150

【凡例】	記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
		分電盤 (共用灯用)	経緯図参照
	○	照明器具	照度図参照
		照明器具 蛍光灯形	〃
	○	照明器具 壁付	〃
	●	非常照明器具	〃
	● 	埋込スイッチ 1P15A	防水型
		人感センサー 8A戦後 照度センサー付 天井直付	屋外軒下用
		人感センサー 子機 照度センサー付 天井直付	屋外軒下用
		人感センサー 照度センサー付 壁付	屋外壁付用
		ブルボックス 寸法は傍記による	
		配管・配線	配線リスト参照

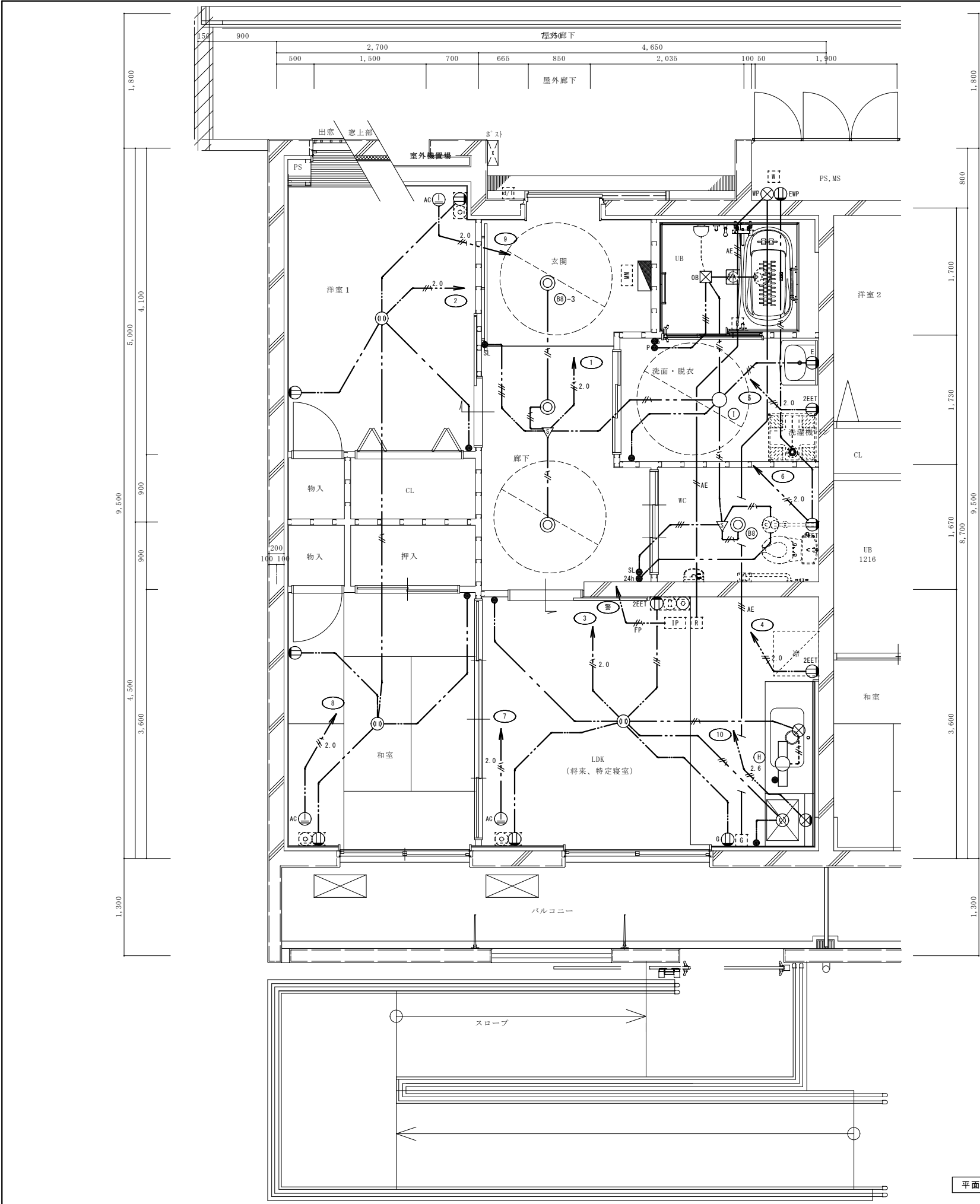
配線リスト	
2.0	EM-1E 2.0x2, E2.0 (PF16) インペ
1.6	EM-1E 1.6x2, E1.6 (PF16) "
1.6	EM-1E 1.6x2 (PF16) "
1.6	EM-1E 1.6x4, E1.6 (PF16) "



【凡例】		
記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
●	埋込スイッチ 1P15A	ワイド型
●3	〃 3W15A	〃
●P	〃 1P15A(位置表示付き)	〃
⦿	埋込コンセント 2P15Ax2	〃
⦿G	〃 2P15Ax2 (ガス警報用)	〃
⦿AC	〃 2P15/20A EET付 (天井面取付)	〃
⦿E	〃 2P15Ax1 E付	〃
⦿EET	〃 2P15Ax1 EET付	〃
⦿2EET	〃 2P15Ax2 EET付	〃
⦿G	〃 2P15Ax2 (ガス漏れ検知器用)	〃
⦿⦿	埋込コンセント+TV受口 2P15Ax2 + TV受口	〃
⦿⦿⦿	埋込コンセント+LAN受口+TEL受口 2P15Ax2 + MJ8P8C + MJ6P2C	〃
⦿⦿	天井引掛シーリング (コンセント・耳付)	
⦿	埋込コンセント 2P15A(LK)x1 レンジフード用	
⦿ENP	防雨コンセント 2P15A ET付	
▬	住戸分電盤 (樹脂製厚付)	結線図参照
⦿	電力量計取付板 (単相3線60A用)	
⦿	情報通信盤 (樹脂製・TEL・LAN・TV機器スペース)	
⦿	ケーブル引出用プレート	
⦿WP	防雨入線カバー	
⦿	blankプレート (将来IHヒーター用)	大角連用樹脂P
⦿	給湯器用リモコンスイッチ	機械設備工事
⦿	インターホン玄関子機	
⦿IP	住宅情報盤	
○	照明器具 直付型	照明器具姿図参照
⦿	〃 ダウンライト	〃
⦿	〃 流元灯	〃

配線リスト		保護管
EM-EEF 2.6-2C, E2.0	天井内インベイ	(PF22)
EM-EEF 2.0-3C(10アース)	〃	(PF22)
EM-EEF 1.6-2C	〃	(PF16)
EM-EEF 1.6-3C(10アース)	〃	(PF22)
EM-EEF 1.6-3C	〃	(PF22)
EM-EEF 1.6-2C x2	〃	(PF22)
EM-EEF 1.6-2C + 3C	〃	(PF22)
EM-EEF 1.6-3C x2	〃	(PF22)
EM-FP-C 2.0-3C(10アース)	〃	(PF22)
EM-AE 1.2-2C (PF16)	〃	
EM-AE 1.2-3C (PF16)	〃	
EM-AE 1.2-4C (PF16)	〃	

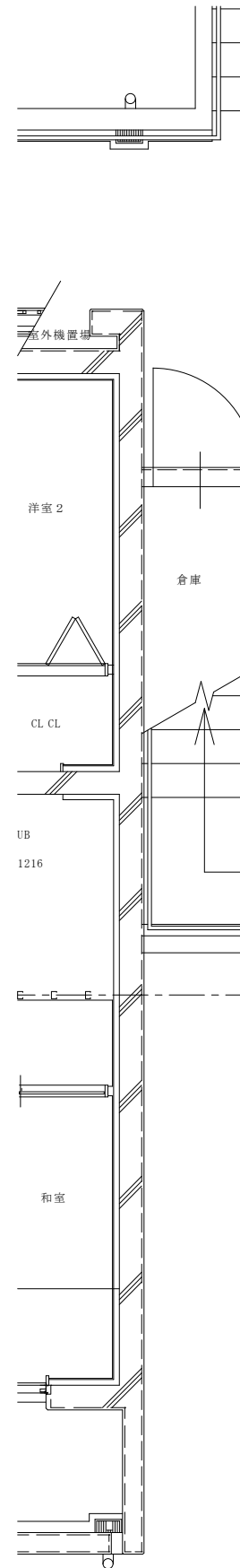
注) 1. 配線の壁(木造壁は除く)立上り、引下げは配管により保護する。
2. 配管、配線の区画各貫通等の処理は別図「凡例(防火区画処理)」による。



【凡例】		
記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
●	埋込スイッチ 1P15A	ワイド型
●3	〃 3W15A	〃
●P	〃 1P15A(位置表示付き)	〃
⦶	埋込コンセント 2P15Ax2	〃
⦶G	〃 2P15Ax2 (ガス警報用)	〃
⦶AC	〃 2P15/20A EET付 (天井面取付)	〃
⦶E	〃 2P15Ax1 E付	〃
⦶EET	〃 2P15Ax1 EET付	〃
⦶2EET	〃 2P15Ax2 EET付	〃
⦶G	〃 2P15Ax2 (ガス漏れ検知器用)	〃
⦶⦶	埋込コンセント+TV受口 2P15Ax2 + TV受口	〃
⦶⦶⦶	埋込コンセント+LAN受口+TEL受口 2P15Ax2 + MJ8P8C + MJ6P2C	〃
⦶⦶	天井引掛シーリング (コンセント・耳付)	
⦶	埋込コンセント 2P15A(LK)x1 レンジフード用	
⦶ENP	防雨コンセント 2P15A ET付	
■	住戸分電盤 (樹脂製厚付)	結線図参照
⦶	電力量計取付板 (単相3線60A用)	
⦶⦶	情報通信盤 (樹脂製・TEL・LAN・TV機器スペース)	
⦶	ケーブル引出用プレート	
⦶WP	防雨入線カバー	
⦶	blankプレート (将来IHヒーター用)	大角連用樹脂P
▽	人感センサー 換気扇用端子付き (照度センサー付)	
⦶	給湯器用リモコンスイッチ	機械設備工事
⦶	インターホン玄関子機	
⦶IP	住宅情報盤	
○	照明器具 直付型	照明器具姿図参照
⦶	〃 ダウンライト	〃
⦶	〃 流元灯	〃

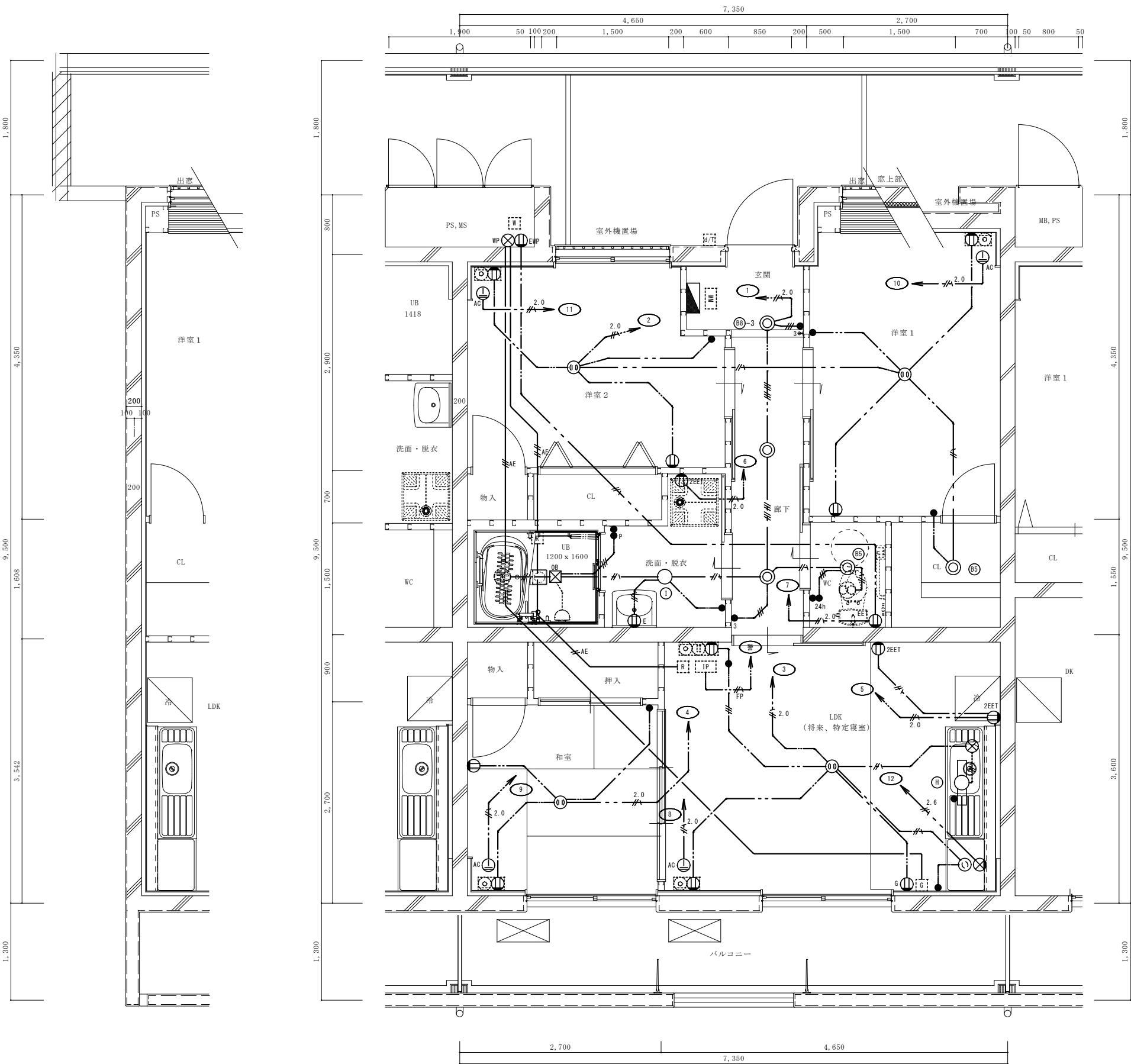
配線リスト		保護管	
2.6	EM-EEF 2.6-2C(E2.0 天井内パイ)	(PF22)	
2.0	EM-EEF 2.0-3C(1Cアース)	〃	(PF22)
1.6	EM-EEF 1.6-2C	〃	(PF16)
1.6	EM-EEF 1.6-3C(1Cアース)	〃	(PF22)
1.6	EM-EEF 1.6-3C	〃	(PF22)
1.6	EM-EEF 1.6-2C x2	〃	(PF22)
1.6	EM-EEF 1.6-2C + 3C	〃	(PF22)
1.6	EM-EEF 1.6-3C x2	〃	(PF22)
2.0	EM-FP-C 2.0-3C(1Cアース)	〃	(PF22)
1.2	EM-AE 1.2-2C (PF16)	〃	
1.2	EM-AE 1.2-3C (PF16)	〃	
1.2	EM-AE 1.2-4C (PF16)	〃	

注) 1. 配線の壁(木造壁は除く)立上り、引下げは配管により保護する。
2. 配管、配線の区画各貫通等の処理は別図「凡例(防火区画処理)」による。



配線リスト	保護管		
	EM-EEF 2.6-2C, E2.0	天井内イハイ	(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C (1Cアース)	"	(PF22)
	EM-EEF 1.6-2C	"	(PF16)
	EM-EEF 1.6-3C (1Cアース)	"	(PF22)
	EM-EEF 1.6-3C	"	(PF22)
	EM-EEF 1.6-2C x2	"	(PF22)
	EM-EEF 1.6-2C + 3C	"	(PF22)
	EM-EEF 1.6-3C x2	"	(PF22)
	EM-FP-C 2.0-3C (1Cアース)	"	(PF22)
	EM-AE 1.2-2C (PF11)	"	
	EM-AE 1.2-3C (PF16)	"	
	EM-AE 1.2-4C (PF16)	"	

平面図詳細図 3DK 1/30



平面図詳細図 3LDK 1/30

【凡例】		
記号	名称・仕様	備考
●	埋込スイッチ 1P15A	ワイド型
●3	〃 3W15A	〃
●P	〃 1P15A(位置表示付き)	〃
⦿	埋込コンセント 2P15Ax2	〃
⦿G	〃 2P15Ax2 (ガス警報用)	〃
⦿AC	〃 2P15/20A EET付 (天井面取付)	〃
⦿E	〃 2P15Ax1 E付	〃
⦿EET	〃 2P15Ax1 EET付	〃
⦿2EET	〃 2P15Ax2 EET付	〃
⦿G	〃 2P15Ax2 (ガス漏れ検知器用)	〃
⦿TV	埋込コンセント+TV受口 2P15Ax2 + TV受口	〃
⦿LAN	埋込コンセント+LAN受口+TEL受口 2P15Ax2 + MJ8P8C + MJ6P2C	〃
⦿00	天井引掛シーリング (コンセント・耳付)	
⦿L	埋込コンセント 2P15A(LK)x1 レンジフード用	
⦿ENP	防雨コンセント 2P15A ET付	
■	住戸分電盤 (樹脂製厚付)	結線図参照
⦿W	電力量計取付板 (単相3線60A用)	
⦿MM	情報通信盤 (樹脂製・TEL・LAN・TV機器スペース)	
⦿X	ケーブル引出用プレート	
⦿XWP	防雨入線カバー	
⦿X	ブランクプレート (将来IHヒーター用)	大角連用樹脂P
⦿R	給湯器用リモコンスイッチ	機械設備工事
⦿I	インターホントラッキング機	
⦿IP	住宅情報盤	
○	照明器具 直付型	照明器具姿図参照
⦿	〃 ダウンライト	〃
⦿	〃 流元灯	〃

配線リスト		保護管	
2.6	EM-EEF 2.6-2C,E2.0 天井内インペイ		(PF22)
2.0	EM-EEF 2.0-3C(1Cアース)		(PF22)
1.6	EM-EEF 1.6-2C		(PF16)
1.6-3C	EM-EEF 1.6-3C(1Cアース)		(PF22)
1.6-3C	EM-EEF 1.6-3C		(PF22)
1.6-2C x2	EM-EEF 1.6-2C x2		(PF22)
1.6-2C + 3C	EM-EEF 1.6-2C + 3C		(PF22)
1.6-3C x2	EM-EEF 1.6-3C x2		(PF22)
2.0-3C(1Cアース)	EM-FP-C 2.0-3C(1Cアース)		(PF22)
1.2-2C	EM-AE 1.2-2C (PF16)		
1.2-3C	EM-AE 1.2-3C (PF16)		
1.2-4C	EM-AE 1.2-4C (PF16)		

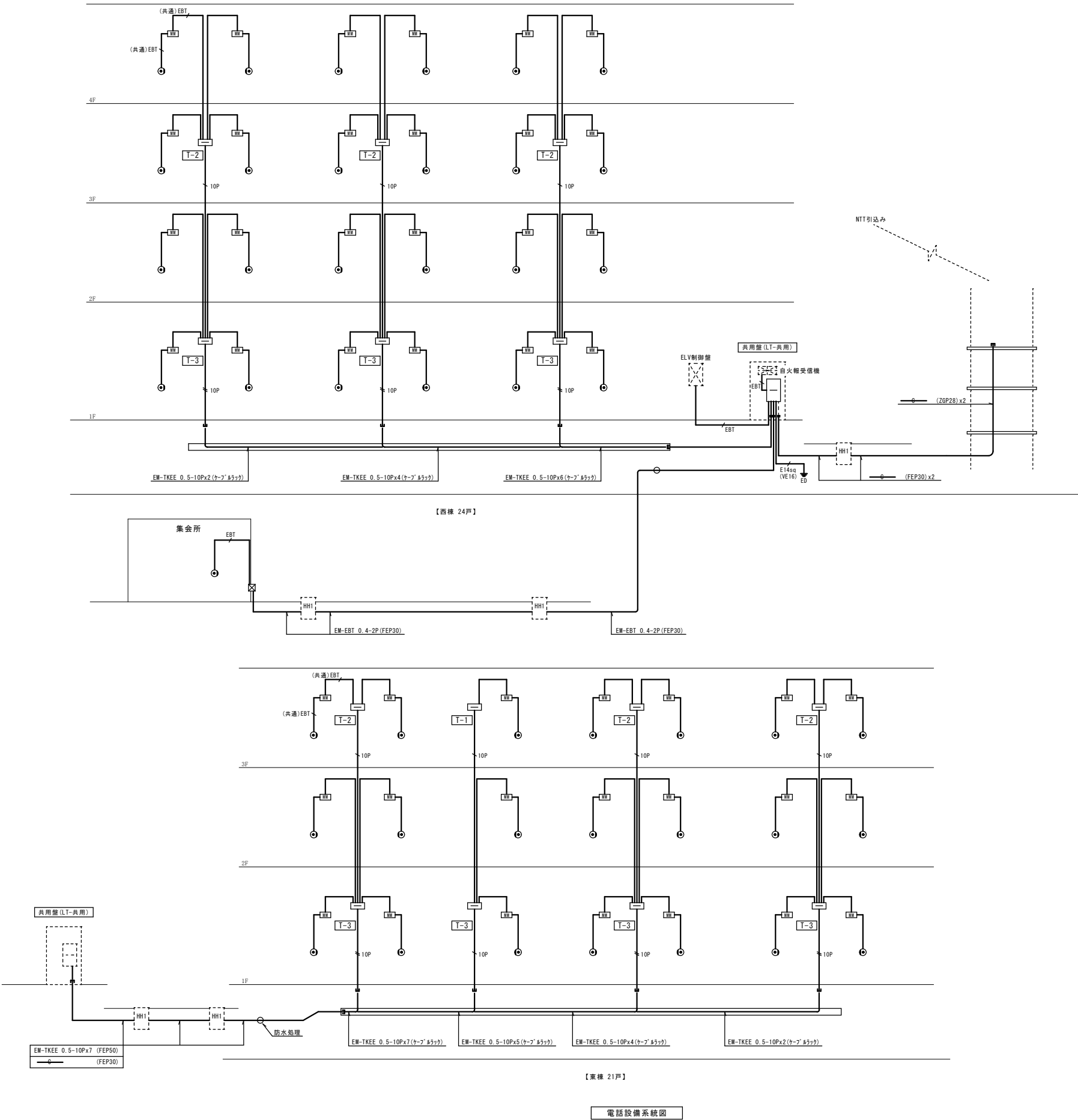
注) 1. 配線の壁(木造壁は除く)立上り、引下げは配管により保護する。
2. 配管、配線の区画各貫通等の処理は別図「凡例(防火区画処理)」による。

凡 例		
記号	名 称 ・ 仕 様	備 考
	端子盤	端子盤リスト参照
	火災報知受信機	火災報知設備工事
	住宅情報盤 (インターネット、電話、TV4分配)	樹脂製既製品、裏ボックス
	電話用アウトレット (6極4芯)	樹脂プレート

端子盤リスト		
記号	名称・仕様	備 考
LT-共用	電話保安器SP+光ケーブルSP+CATV保安器SP+2分岐+4分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	銅板製指定色、屋内壁掛(自立)型
T-1	端子 10P実装、CATVブースター+2分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	SUS製指定色、屋外壁掛型
T-2	端子 10P実装、CATVブースター+4分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	〃
T-3	端子 10Px2実装、CATVブースター+2分岐+4分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	〃

配線リスト		保護管
	EM-EBT 0.4-2P 300φ (PF16)	
	EM-TKEE 0.5-10P (PF22) インベイC (PF22)	
	EM-EEF 1.6-20x2 EM-EEF 1.6-20x3C	〃 〃

注) 住戸内の配線の壁立上り、引下げは配管により保護する。



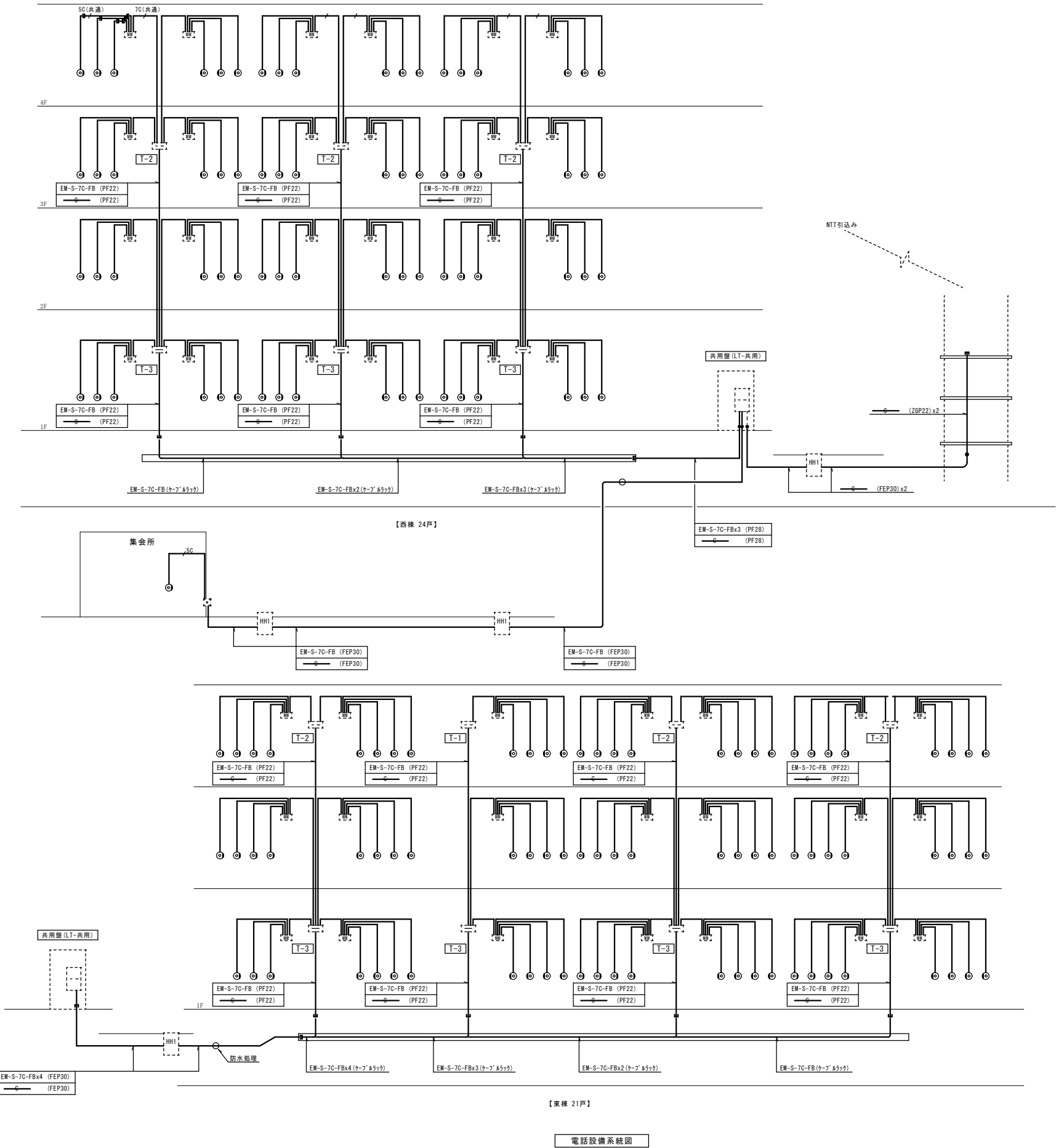
凡 例		
【三三】	端子盤	端子盤リスト参照
【五五】	火災報知受信機	火災報知設備工事
【五】	住宅情報盤 (インターネット、電話、TV4分配)	樹脂製既製品、裏ボックス
◎	テレビ直列ユニット (CS-7F-RW)	樹脂プレート

端子盤リスト

記号	名 称 ・ 仕 様	備 考
LT-共用	電話保安器SP+光ケーブルSP+CATV保安器SP+2分岐+4分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	銅板製指定色、屋内壁掛(自立)型
T-1	端子 10P実装、CATVブースター+2分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	SUS製指定色、屋外壁掛型
T-2	端子 10P実装、CATVブースター+4分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	〃
T-3	端子 10Px2実装、CATVブースター+2分岐+4分配器+コンセント(2P15Ax1, ET付)	〃

配線リスト		保護管
5C	EM-S-5C-FB 308'x1	(PF16)
7C	EM-S-7C-FB 〃	(PF22)

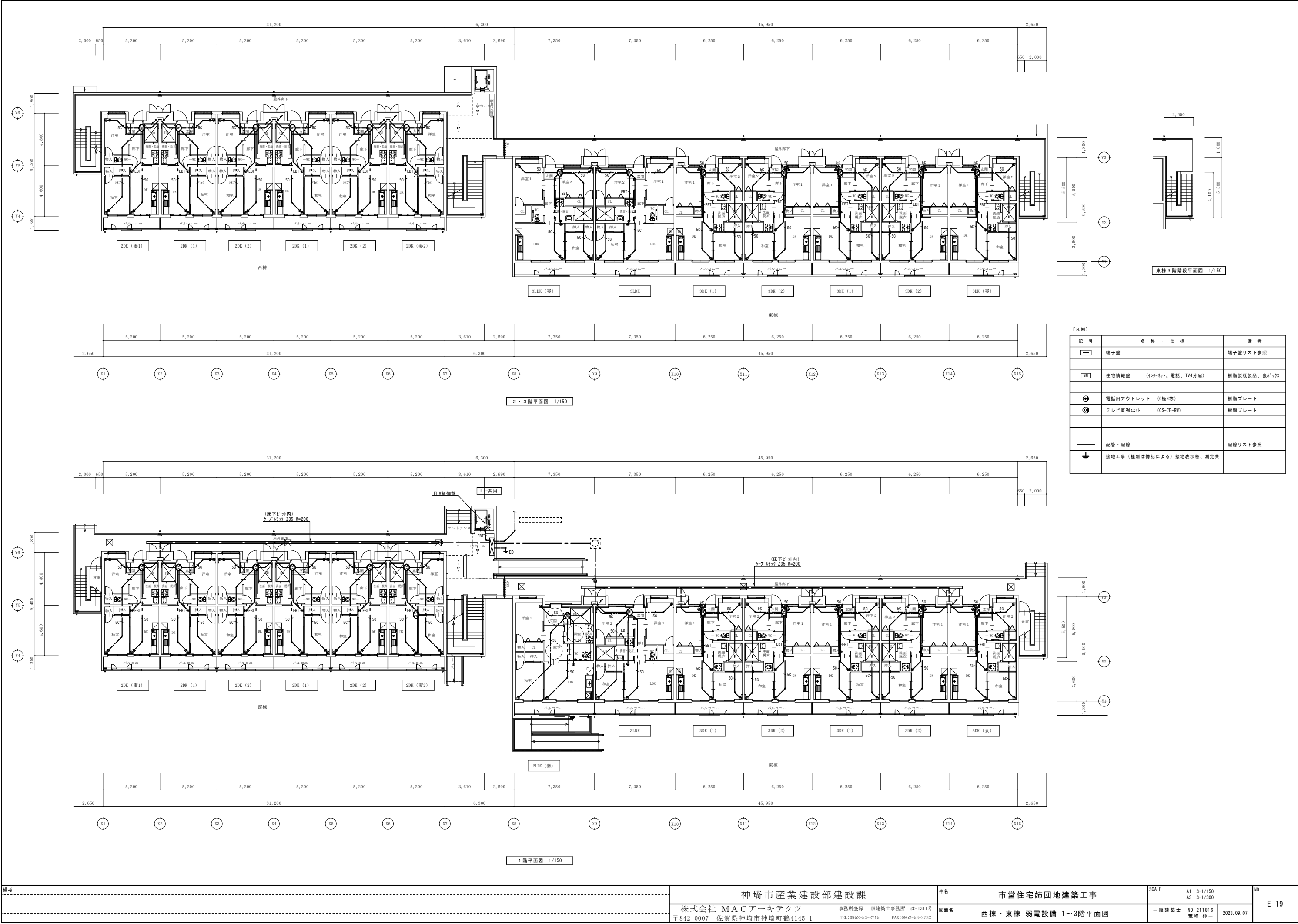
注) 住戸内の配線の壁立上り、引下げは配管により保護する。



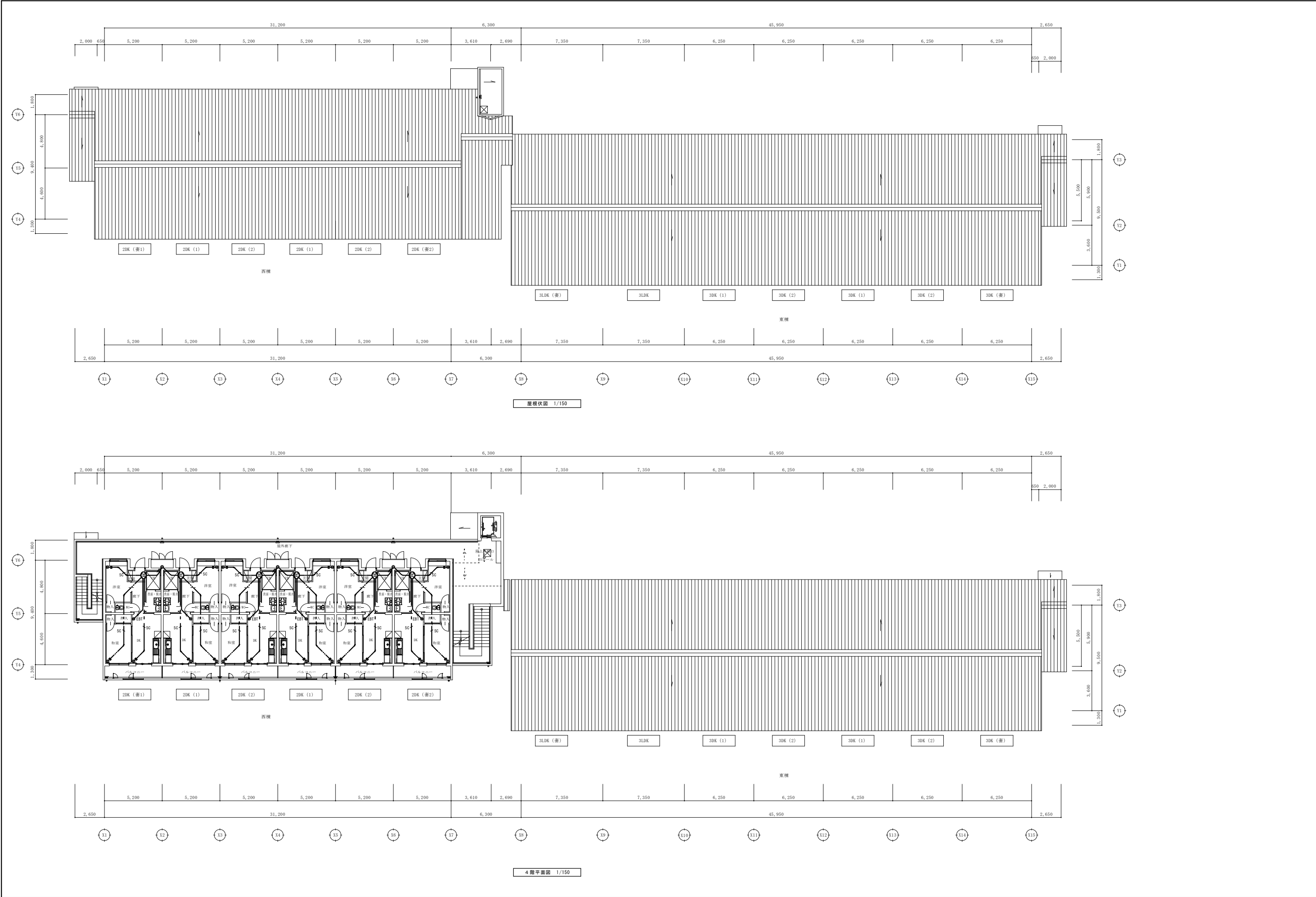
【西棟 24戸】

【東棟 21戸】

電話設備系統図

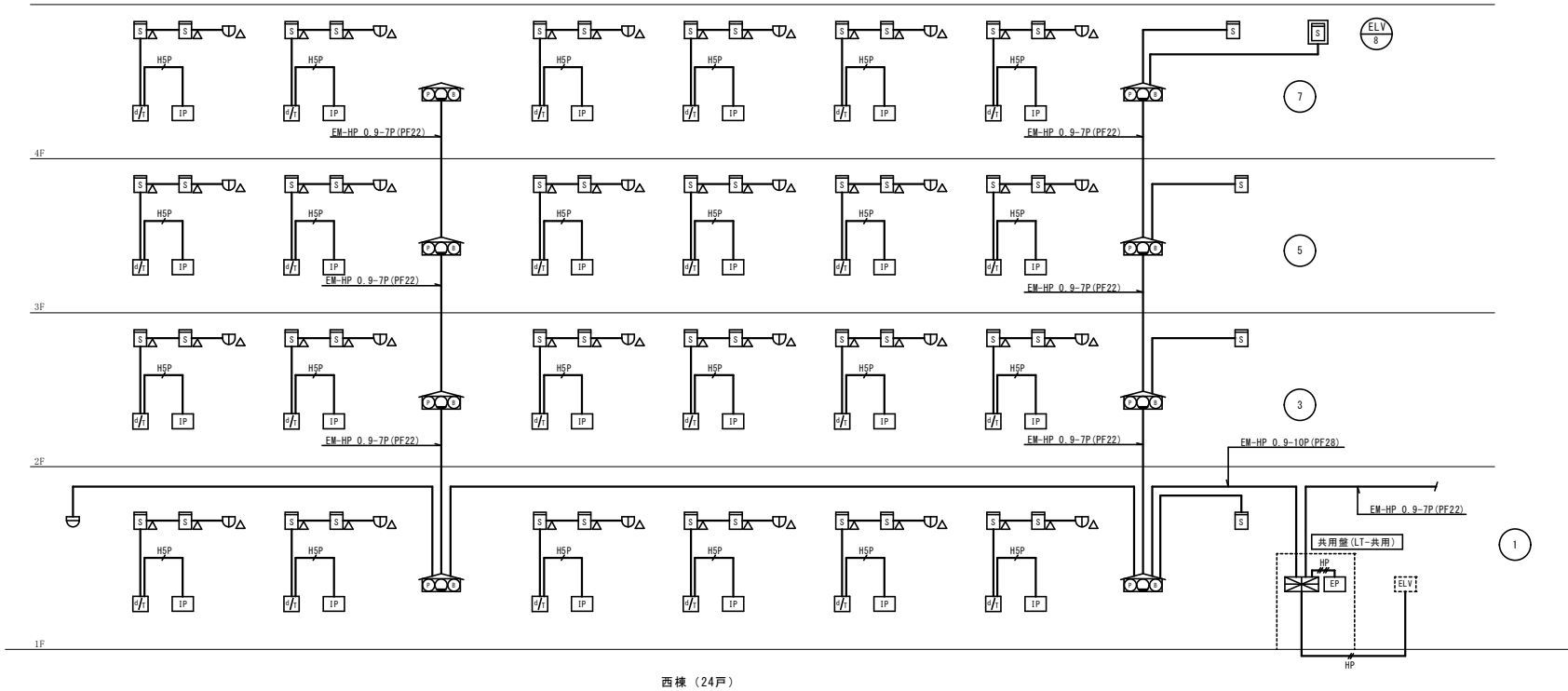


【凡例】		
記号	名称・仕様	備考
	端子壁	端子壁リスト参照
	住宅情報壁 (インターネット、電話、TV4分配)	樹脂製既製品、裏付ナシ
	電話用アウトレット (6極4芯)	樹脂プレート
	テレビ直列エント (CS-7F-RW)	樹脂プレート
	配管・配線	配線リスト参照
	接地工事 (種別は傍記による) 接地表示板、測定共	



備考	神崎市産業建設部建設課			件名	市営住宅姉団地建築工事		SCALE	A1 S=1/150 A3 S=1/300	NO. E-20
	株式会社 MACアーキテツ			図面名	西棟・東棟 弱電設備 4・屋根階平面図		一級建築士	NO. 211816 荒崎 伸一	
	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴4145-1			事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号	TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732			2023.05.10	

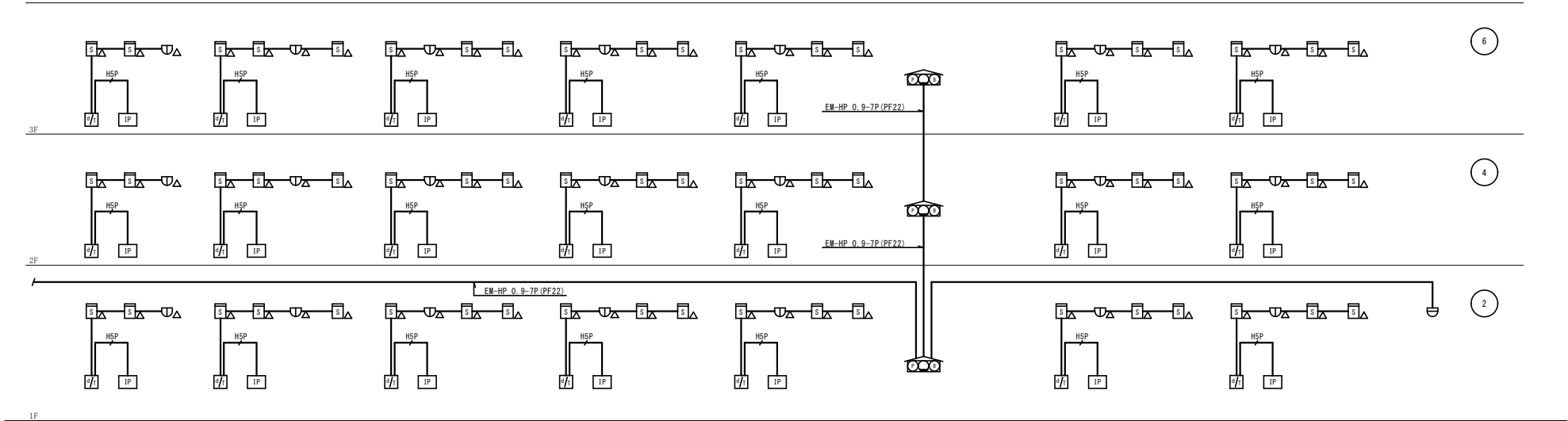
凡 例		
記号	名 称 ・ 仕 様	備 考
	受信機 P型10芯	
	非常用操作盤	
	エレベーター制御盤	エレベーター工事
	総合盤 P型1級 防雨型	
	感知器 差動式スポット型感知器 2種 露出	
	煙感知器 光電式 2種 露出	
	煙感知器 光電式 2種 露出 点検面付	
	終端抵抗	
	警戒区域番号	
	住宅情報盤 GP3級受信機	
	警報表示付ドアホン 遠隔試験端子付	
	感知器 定温式スポット型感知器 1種 防水 遠隔試験機能付	
	煙感知器 光電式 2種 露出 遠隔試験機能付	
	専用終端器 住宅感知器用 戸外点検用	



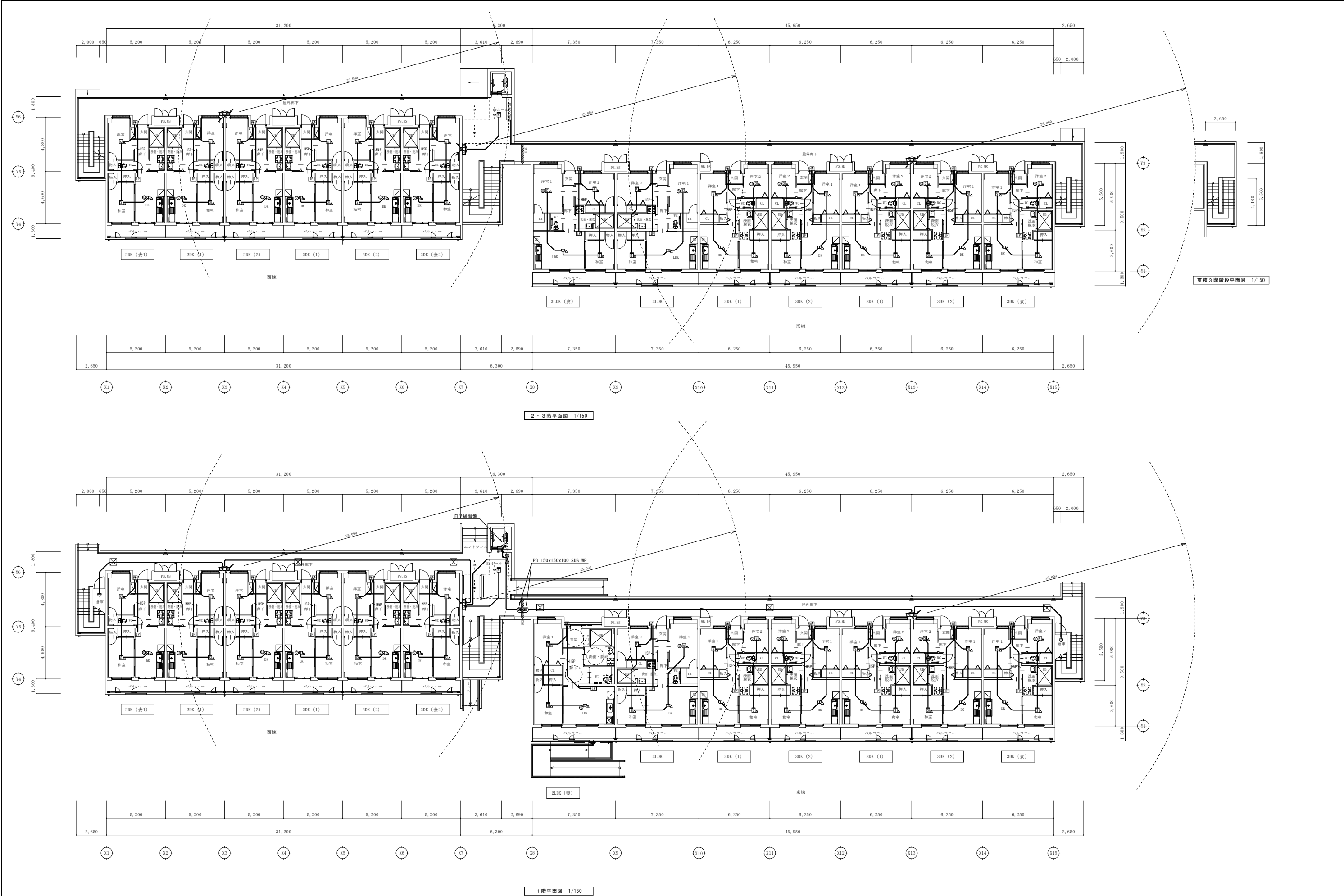
西棟（24戸）

配線リスト		保護管
	EM-AE 0.9-2C 3芯2線 (PF16)	
	EM-HP 0.9-5P 5 (PF22)	

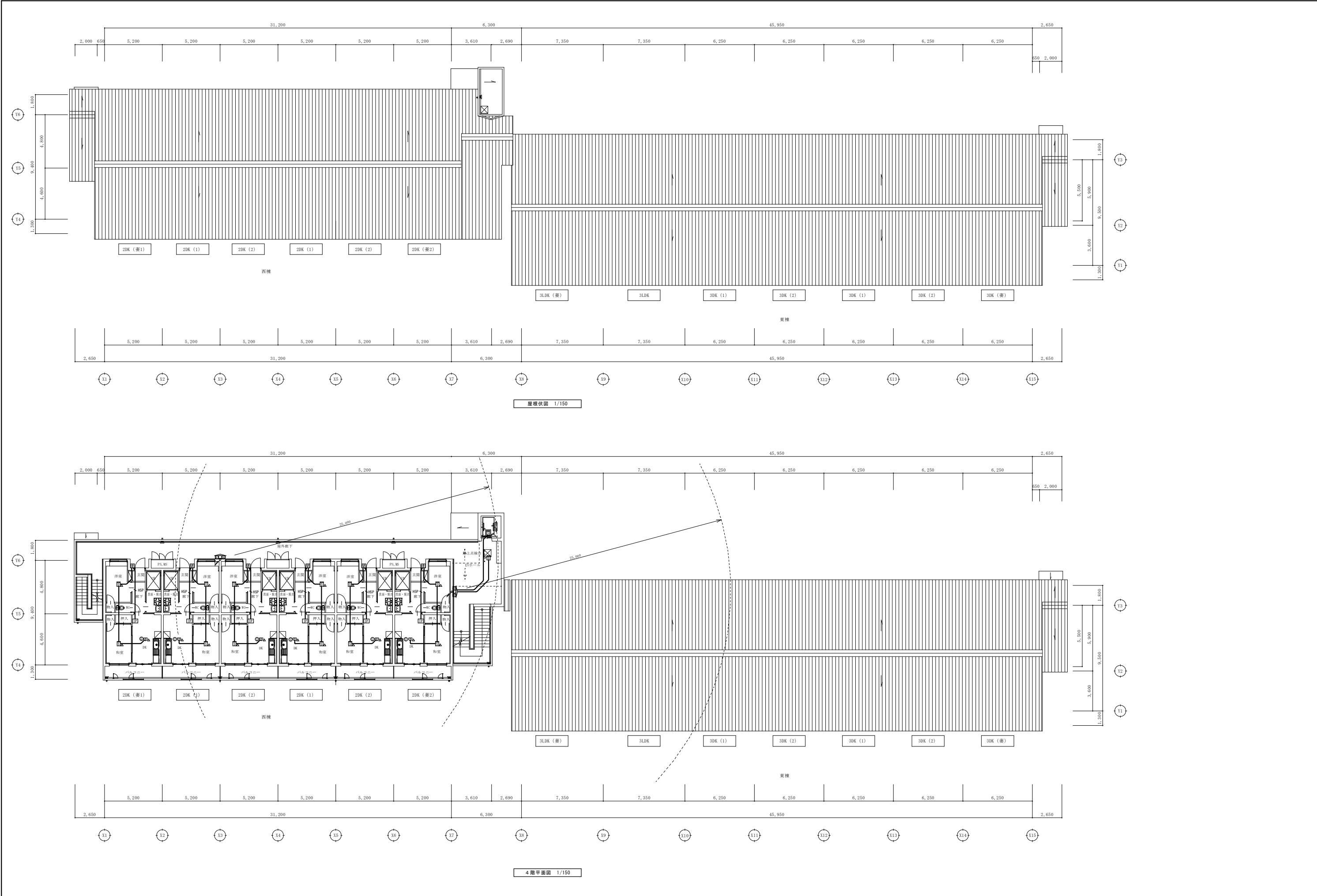
注）住戸内の配線の壁立上り、引下げは配管により保護する。



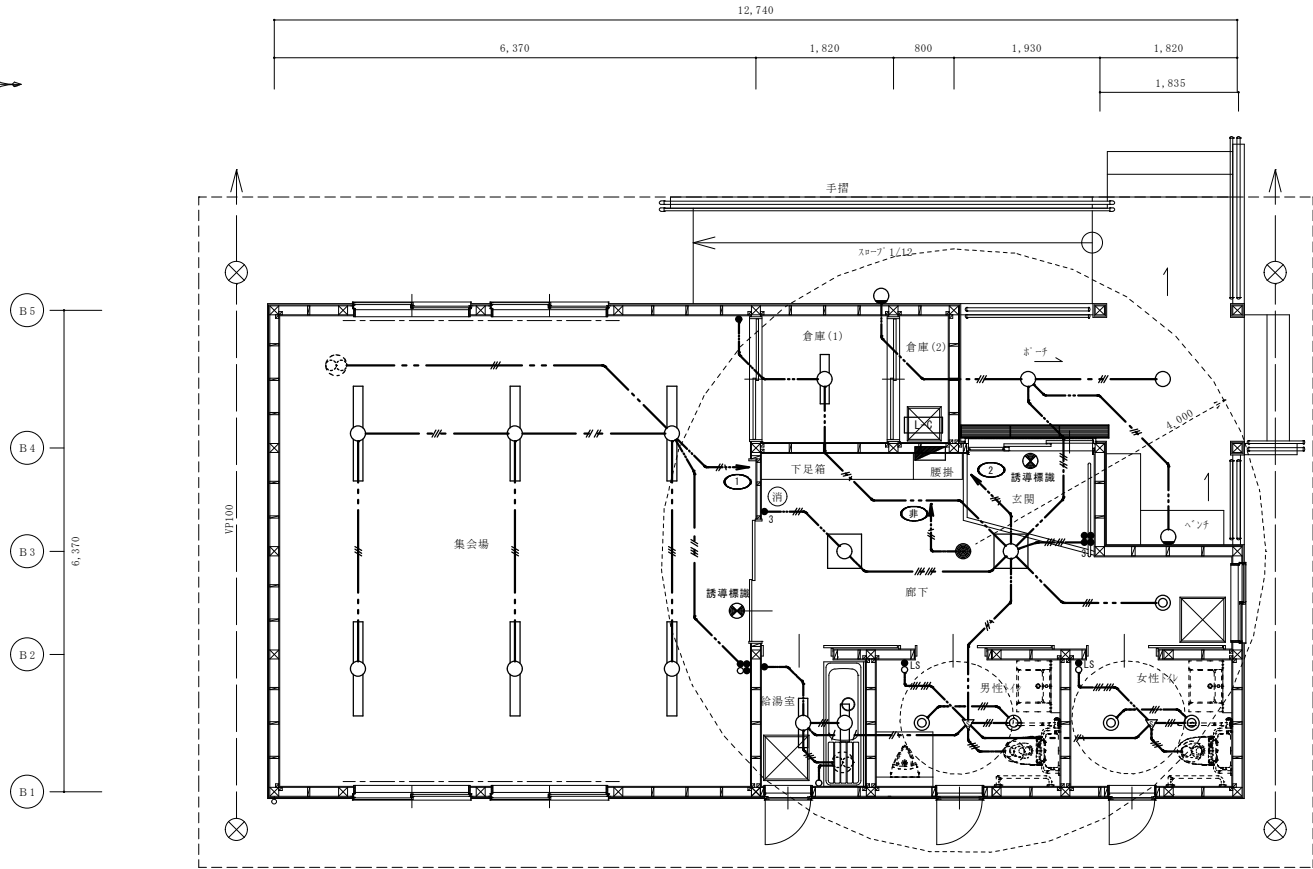
東棟（21戸）



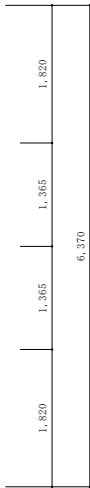
備考	神崎市産業建設部建設課				件名	市営住宅姉団地建築工事		SCALE	A1 S=1/150 A3 S=1/300	No. E-22
	株式会社 MACアーキテクト				図面名	西棟・東棟 火災報知設備 1～3階平面図	一級建築士 荒崎 伸一	2023.09.07		
	事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴4145-1 TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732									



備考	神崎市産業建設部建設課			件名	市営住宅姉団地建築工事		SCALE	A1 S=1/150 A3 S=1/300	NO. E-23
	株式会社 MACアーキテツ			図面名	西棟・東棟 火災報知設備 4・屋根階平面図		一級建築士	NO. 211816 荒崎 伸一	
	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴4145-1			事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号	TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732			2023.05.10	



平面図 1/50



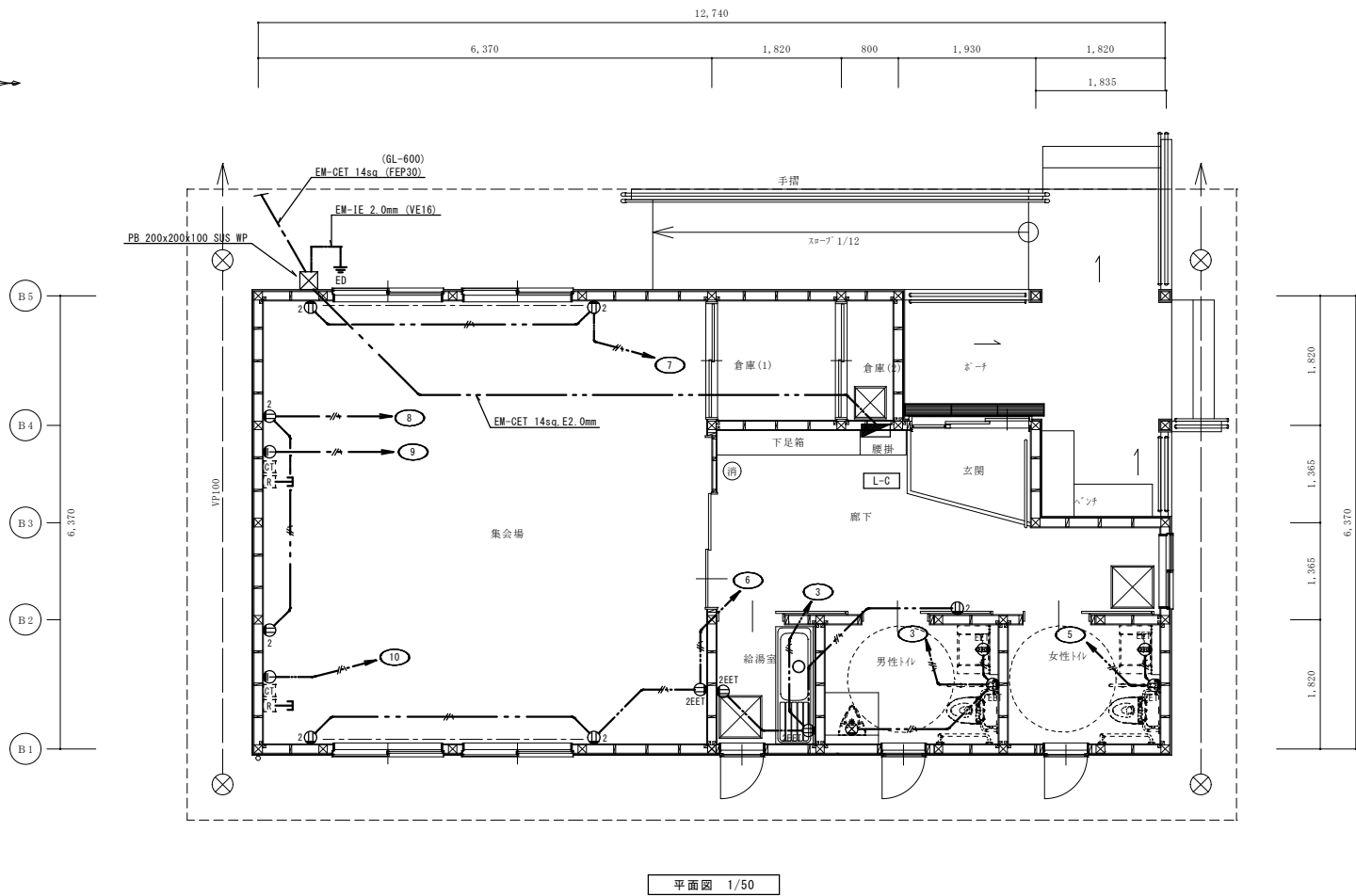
集会場	ホーチ
E48 x 6	A x 2
倉庫(1)	外壁
E15 x 1	J x 2
給湯室	
E30 x 1	
H x 1	
男性トイレ	
B8 x 2	
女性トイレ	
B8 x 2	
玄関・廊下	
F x 2	
B8 x 1	
a1 x 1	

凡 例

記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
■	電灯壁	結線図参照
○	照明器具 直付型	照明器具姿図参照
□○	" 蛍光灯型	"
◎	" ダウンライト	"
○	" ブラケット	"
●	非常照明	"
⊗	誘導標識	
●	埋込スイッチ 1P15A	大角通用 金属プレート
●s	" 3W15A	"
○	" 1P4A (ﾊﾞｲﾍﾞｯﾄﾞﾌﾞﾗｯｸﾞ 付)	"
▽	人感センサー 明るさセンサー付、屋外天井付 観機	100V, 8A
●LS	同上用 操作スイッチ ON, OFF, 連動	
⊗	換気扇	機械設備工事

配線リスト	保護管
—H—	EM-EEF 2.0-30 ｺﾝﾁﾚｯﾄ (PF22)
—H—	EM-EEF 2.0-20, 1.6-30 " (PF22)
—H—	EM-EEF 1.6-20 " (PF16)
—H—	EM-EEF 1.6-30 " (PF16)
—H—	EM-EEF 1.6-20x2 " (PF22)
—H—	EM-EEF 1.6-30x2 " (PF22)
—H—	EM-EEF 1.6-30x2 " (PF22)

注) 1. 配線の壁(木部以外)立上り、引下げは配管により保護する。



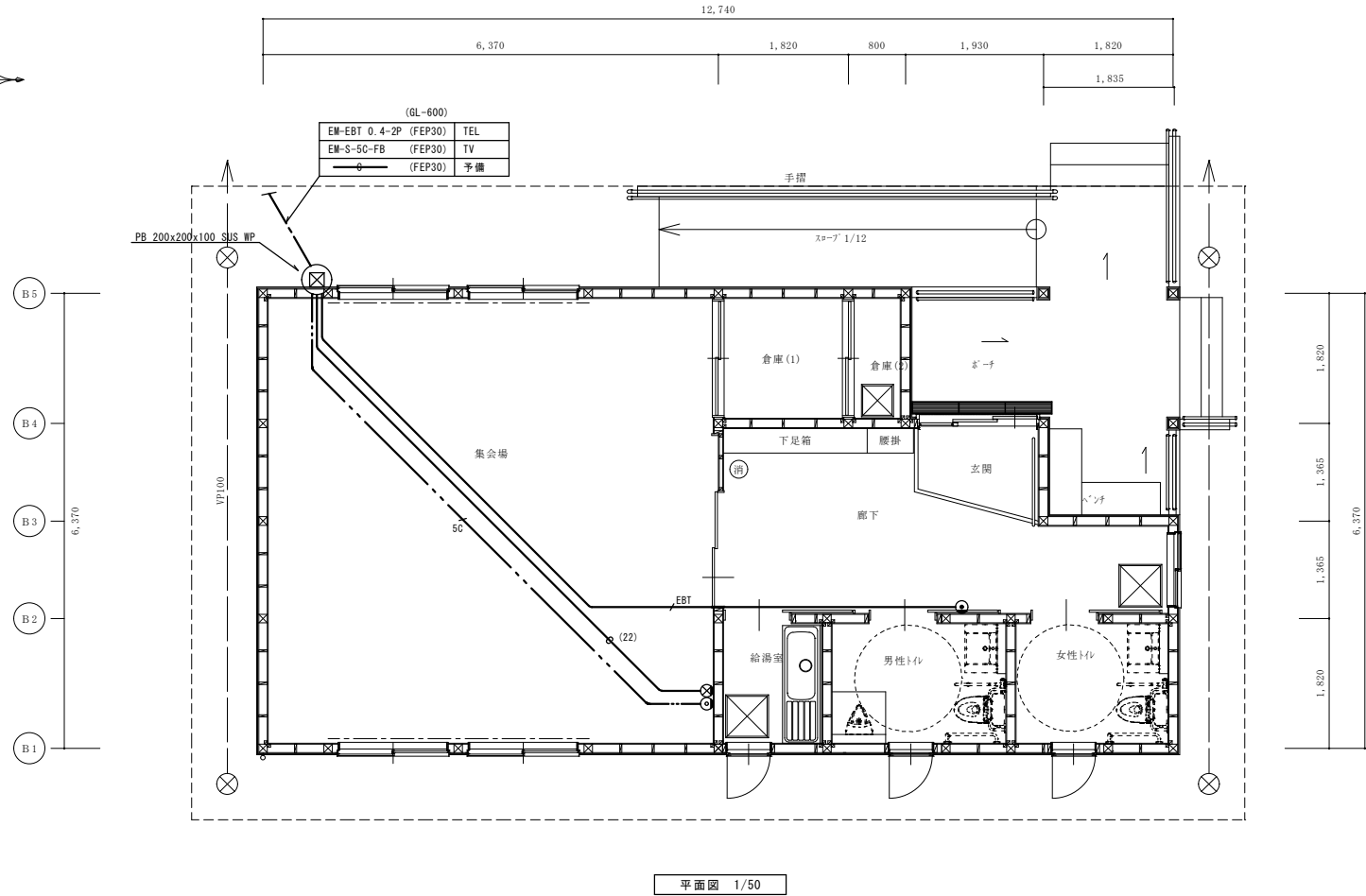
凡 例

記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
	電灯壁	結線図参照
①2	埋込コンセント 2P15Ax2	大角連用 金属ﾌﾟﾚｰﾄ
①EET	" 2P15Ax1, EETx1	"
①DEET	" 2P15Ax2, EETx1	"
①	" 2P15 (20) Ax1, E付	"
⊗	ﾌｧｲﾚｯﾄﾎﾞｰｸｽ	
⊗	ﾌﾙﾎﾞｯｸｽ 寸法は傍記による	
〔E〕	AC用リモコン	機械設備支給品
〔T〕	コインタイマー	機械設備支給品

配線リスト

配線リスト		保護管	
	EM-EEF 2.0-3C	ｺﾛｶﾞｼ (PF22)	

注) 1. 配線の壁(木部以外)立上り, 引下げは配管により保護する。



凡 例		
記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
⊙	電話用アウトレット 6極4芯 樹脂ﾌﾟﾚｰﾄ	大角連用
⊙	直列ユニット CS-7F-RW 樹脂ﾌﾟﾚｰﾄ	大角連用
⊗	フラッシュプレート 角 樹脂ﾌﾟﾚｰﾄ	大角連用
⊗	ブルボックス 寸法は傍記による	

配線リスト		保護管	
EBT	EM-EBT 0.4-2P (PF16)	ｲﾝﾊﾞｰｲ	
5C	EM-S-5C-FB	ｺﾛﾈﾙｼﾞ	(PF16)
(22)	空配管 (PF22)	ｲﾝﾊﾞｰｲ	

太陽光発電設備設置工事 特記仕様書

1. 一般事項

1.1 適用範囲

本仕様書は、神崎市姉団地系統連系用太陽光発電設備工事について適用します。

1.2 納入場所

佐賀県神崎市

1.3 納入期限

令和 年 月 日

1.4 適用規格・法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとします。

- (1) 労働基準法

(2) 労働安全衛生法

(3) 建築基準法

(4) 電気事業法

(5) 電気工事士法

(6) 消防関係法規

(7) 電気設備技術基準

(8) 電力品質確保に係る
系統連系技術要件ガイドライン
- (9) 日本産業規格（JIS）

(10) 日本電機工業会標準規格（JEM）

(11) 日本電気規格調査会標準規格（JEC）

(12) 日本電線工業会規格（JCS）

(13) 内線規程

(14) 系統連系規程

1.5 保証条件

検収後1年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不都合が発生した場合は、速やかにこれを無償で修理、または、良品と交換するものとします。

なお、上記保証期間を経過した後に、機器製作不良等工事者の責に帰すると判断される原因により事故が生じた場合、その修理・取替に要する費用については、協議の上決定するものとします。

2. システム概要

2.1 設備の概要

名称

連系する電力系統

発電設備の種類

設備容量

: 神崎市姉団地 太陽光発電設備

: 低圧一般配電線（三相3線、202V、60Hz）

: 太陽電池発電所

太陽電池容量

11kW相当

パワーコンディショナ容量

10kW

2.2 システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池取付金具、パワーコンディショナ（接続箱機能、連系保護装置含む）、計測監視装置等より構成します。

- ①

太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これをパワーコンディショナ（接続箱機能）で集電します。
- ②

パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給します。
- ③

連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を遮断します。
- ④

運転データ等は、計測監視装置により収集します。

2.3 運転方式

パワーコンディショナは、下記の通り全自動運転を行うものとします。

- ①

太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナを自動的に起動します。
- ②

太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止します。
- ③

太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として日中発電時のみを対象とします。日中発電時に日射不足により給電不能となる場合は自動的に運転を停止させます。
- ④

太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を採って行い、不要な高頻度のポンピング（ON／OFF動作）を避けます。
- ⑤

交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は、速やかに商用系統との連系接続を解列し確実に停止します。
- ⑥

商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば設定時間後、自動的に再投入して運転を再開します。

2.4 系統連系保護方式

本システムにおける連系保護装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとします。

電気設備技術基準の解釈第227条の規定による保護継電器の種類・設置相数および検出場所を表－1に示します。

（低圧連系）

表－1		
保護継電器の種類	設置相数	検出場所
① 過電圧継電器（OVR）	2相	パワーコンディショナ内
② 不足電圧継電器（UVR）	3相	
③ 周波数上昇継電器（OFR）	1相	
④ 周波数低下継電器（UFR）	1相	
⑤ 単独運転検出機能（受動・能動）	－	

2.5 データ計測方式

本システムにおけるデータ計測に当たっては、①に示す機器により、②に示す条件で、③に示すデータを自動的に収集し、小型計測端末内に1時間データを蓄積し、抽出できる計測システムを構築します。

- ① 使用機器

・小型計測端末

: 1式
- ② 測定周期、演算周期

・測定周期

: 6秒

・演算周期

: 1分
- ③ データ収集項目

表－2		
項 目	測定点数	データ格納
・パワーコンディショナ出力電力	1点	○
・太陽電池出力電力	1点	○

2.6 納入機器範囲

納入機器は表－3に示す通りとします。

表－3				
No.	機 器 名	仕 様	数量	備 考
1.	太陽電池モジュール	太陽電池	28枚	小型計測端末
2.	太陽電池取付金具		1式	
3.	パワーコンディショナ	10kW	1台	
4.	三相低圧変圧器	15kVA	1台	
5.	計測監視装置		1式	

3. 機器仕様

3.1 太陽電池モジュール

種類

容量

外形寸法

出力特性

: 単結晶シリコン太陽電池

: 11.48kW

: 図面参照

: 表－4参照

表－4 特性表		
項目	区分	モジュール出力
最大出力		410W _{min} ～3%
最大出力動作電圧		31.09 V
最大出力動作電流		13.20 A
開放電圧		37.33 V
短絡電流		14.06 A

条件 : 日射強度 AM1.5 1kW²/m²
: 素子温度 25℃

太陽電池モジュールを14直列2並列にて使用するものとします。

3.2 太陽電池取付金具

構造

外形寸法

材質

強度

: 立平葺屋根用

: 別途図面参照

: アルミ合金

: 関係法規に基づき必要な強度を有するものとします。

3.3 パワーコンディショナ

種類

容量

入力電圧範囲

出力電圧

電力変換効率

出力基本波力率

交流電流ひずみ率

制御方式

運転／停止

保護機能

計測機能

: 系統連系パワーコンディショナ（屋外壁掛形）

: 10kW

: DC0～650V

: 三相3線式 AC202V 50／60Hz

: 97.0%

: 0.95以上

: 総合5%以下 各次3%以下

: 最大出力追従制御

: 「2.3 運転方式」によるものとします。

: 「2.4 系統連系保護方式」によるものとします。

: 表示項目（切替式）
・直流電圧 ・直流電流 ・直流電力
・交流電圧 ・交流電流 ・交流電力
・交流電力量

接続箱機能

外形寸法

塗装色

周囲条件

: 回路数 : 入力6回路
: 収納機器 : 入力回路断路端子及び逆流防止ダイオード
配線用しゃ断器・誘導雷保護器（ZNR）

: 別途図面参照

: マンセル5Y7／1近似色

: 周囲温度 －20℃～+50℃、相対湿度10～95%
(結露なし)

3.4 三相低圧変圧器

構造

材質

定格容量

一次電圧

二次電圧

外形寸法

周囲条件

: 屋外自立型形

: 鋼板製

: 15kVA

: 三相3線、200V、60Hz

: 三相3線、200V、60Hz

: 別途図面参照

: 周囲温度 －20℃～40℃、相対湿度10～85%
(結露なし)

3.5 計測監視装置

使用機器

設置場所

電源電圧

: 小型計測端末

: 屋内

: AC100V

4. 工事範囲

4.1 据付、配線工事

- (1) 据付工事

納入機器の据付工事
- (2) 配線工事

納入機器の配線工事

4.2 接地用配線工事

- (1) 納入機器のC種及びD種接地工事

(接地は既設のものを使用するものとします。)

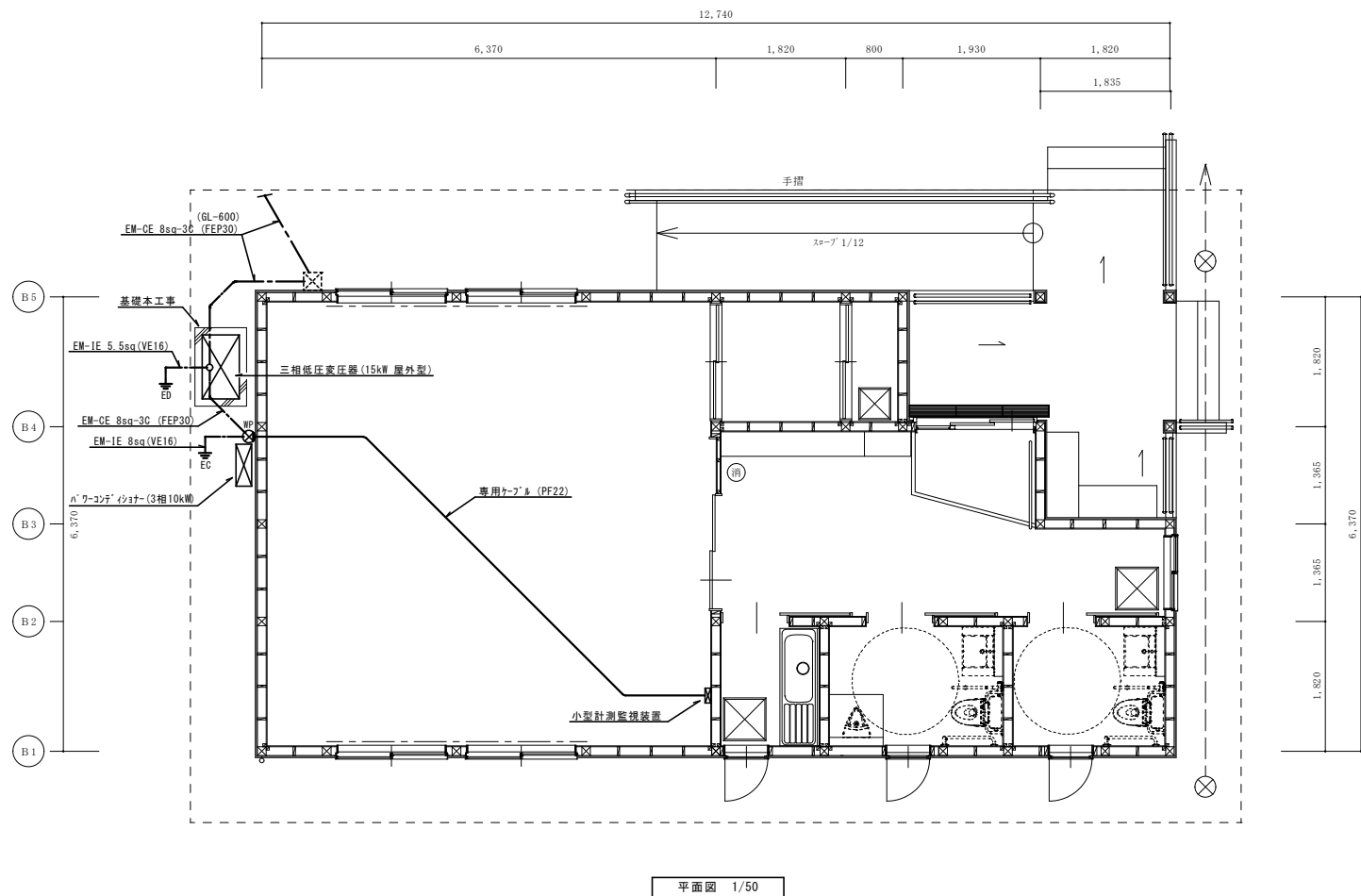
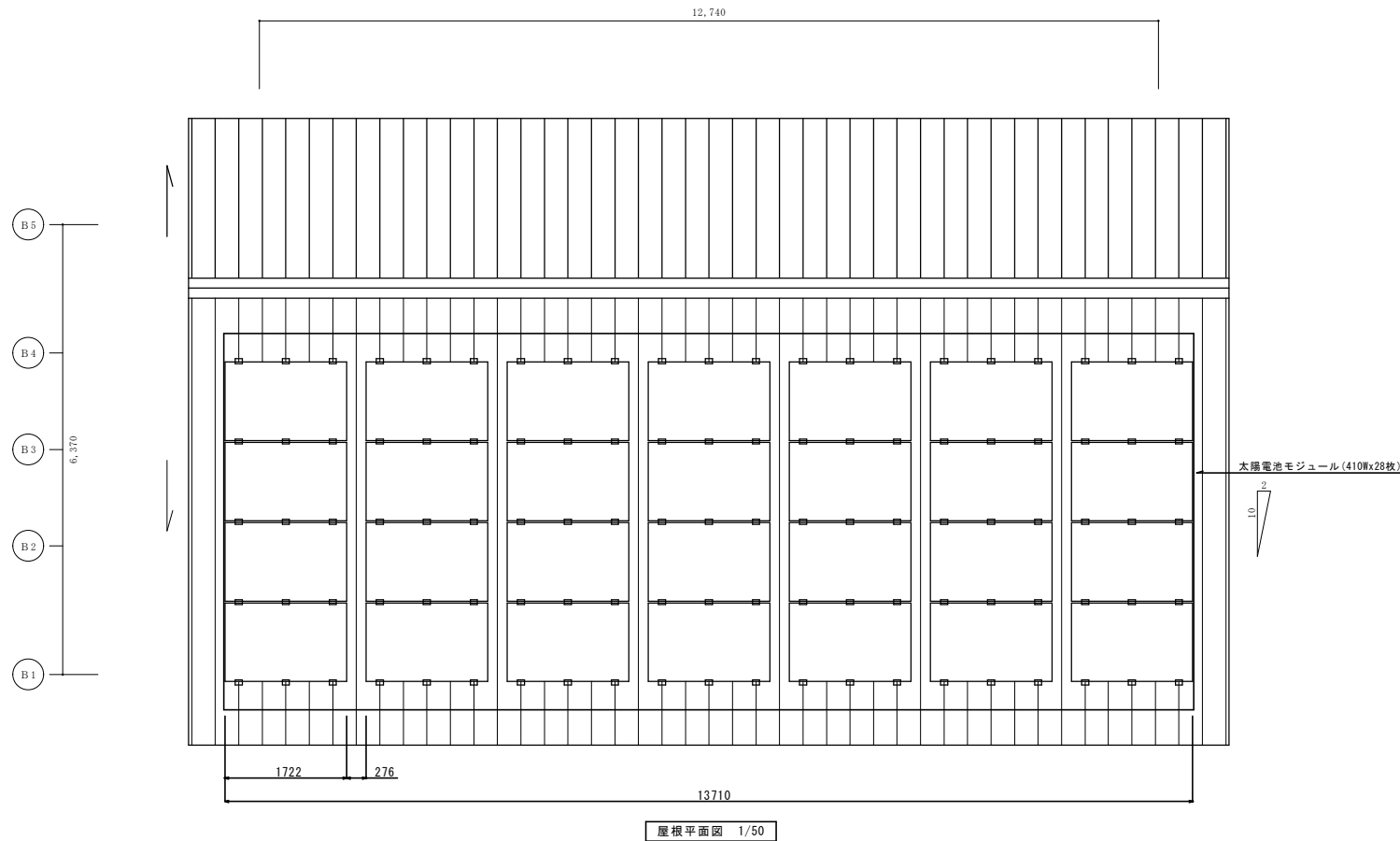
5. 試運転・完成検査項目

試運転・完成検査項目は、下表に示す通りとします。

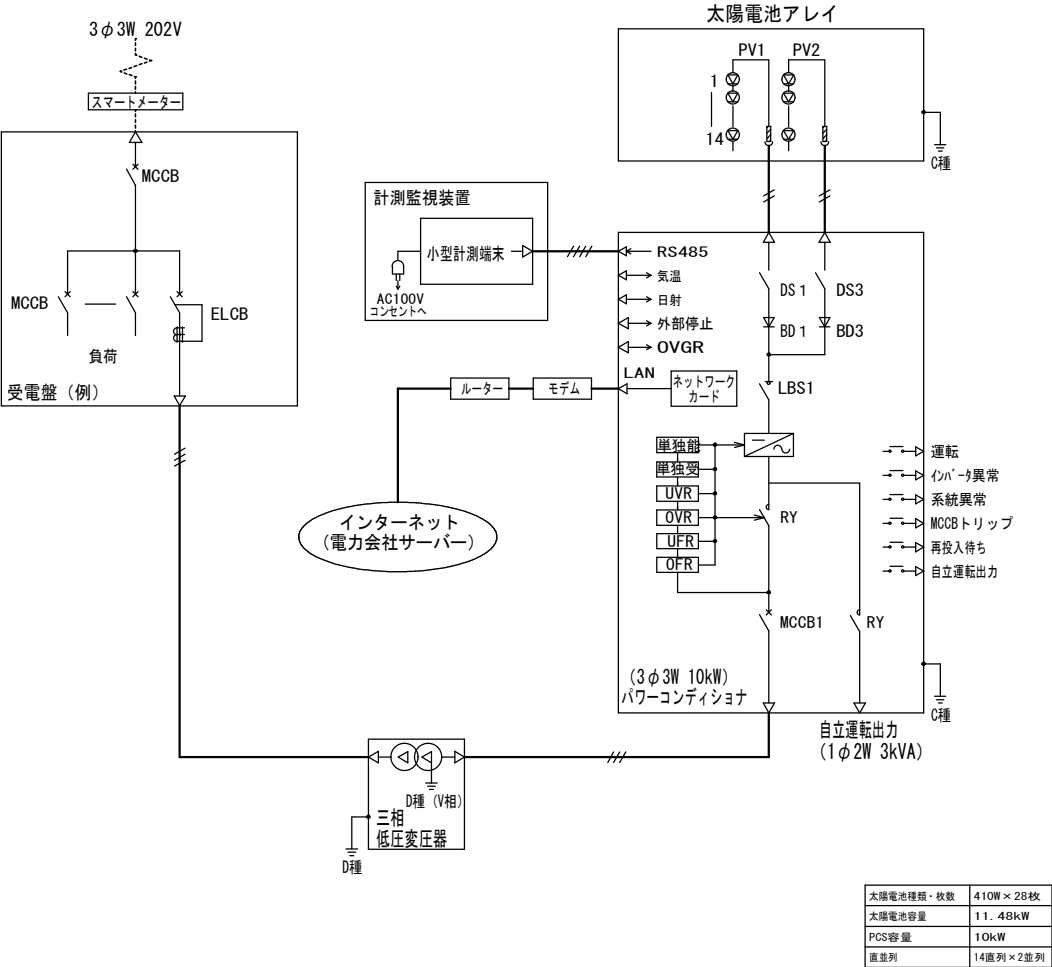
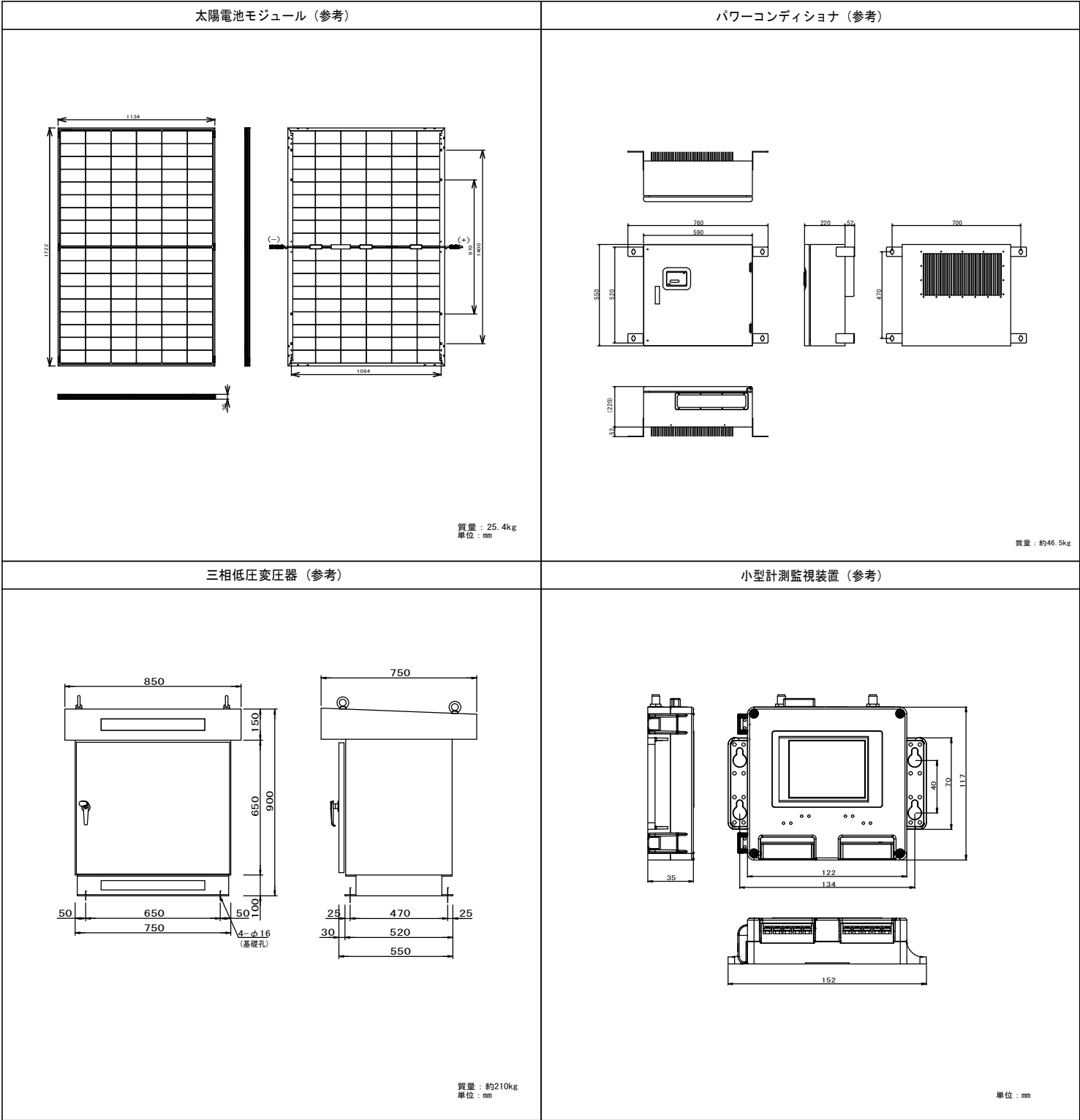
表－5					
	太陽電池	パワー コンディショナ	三相低圧 変圧器	計測監視 装置	配線 ケーブル
外観・構造試験	○	○	○	○	○
絶縁抵抗試験	○	○注			○
絶縁耐圧試験	○注	○注			
保護装置特性		○注			
動作確認試験		○	○	○	

注） 現地試験は省略し、工場試験成績書にて承認して頂くものとします。

備考	神崎市産業建設部建設課				件名	市営住宅姉団地建築工事			SCALE	A1 S=NS A3 S=NS			NO. E-27
	株式会社 MACアーキテツツ 事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号 〒842-0007 佐賀県神崎市神崎町鶴4145-1 TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732				図面名	太陽光発電 仕様書			一級建築士	NO.211816 荒崎 紳一	2023.09.11		



備考	神崎市産業建設部建設課			件名	市営住宅姉団地建築工事		SCALE A1 S=1/50 A3 S=1/100		NO. E-28
	株式会社 MACアーキテツ 事務所登録 一級建築士事務所 12-1311号 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴4145-1 TEL:0952-53-2715 FAX:0952-53-2732			図面名	太陽光発電 平面図		一級建築士 NO. 211816 荒崎 伸一		
						2023.09.11			



凡 例		保護装置	
記号	名称	記号	名称
BD	逆流防止ダイオード	LBS	高圧交流急停装置
VCB	真空遮断器	PAS	柱上気中開閉器
DS	検出器	LA	避雷器
ELCB	漏電遮断器	VCT	計器用変圧器
GR	接地線電線	RY	パワーリレー
LA	避雷器	T	変圧器
LBS	高圧急停装置（ソフト）	PV	太陽電池アレイ
MC	電圧検知器	WH	電力計
MCCB	配線用遮断器	ZPD	電圧分圧器
OFR	過電流遮断器		
OVGR	過電流電圧線電線		
OVR	過電圧保護電線		
UFR	不正電圧検知電線		
UVR	不正電圧検知電線		
単独器	単独運転停止検知（受動型）		
単独変	単独運転停止検知（受動型）		

注記）上記凡例は、一般的に太陽光発電システムの系統図に使用される記号を示したもので、本系統図に使用されない記号も含まれます。
太陽光発電設備設置により既存設備へ与える影響を及ぼす可能性もあるため、現地確認及びお客様においてのご確認をお願いいたします。
太陽光発電設備の仕様は電気主任技術者または、保安管理担当者様と協議のうえ決定するものとします。

太陽光発電設備 機器姿図